

2017年度新卒採用スケジュールに関する 緊急企業調査

2015年12月

株式会社ディスコ キャリアリサーチ

DISCO

はたらくを、もっと豊かに。

目次

■ 調査概要	P3
■ 調査結果		
1 採用見込み	P4
2 採用活動スタイル	P6
3 採用活動スケジュール		
「自社セミナー」開始時期	P9
「エントリーシート受付」開始時期	P12
「筆記・適性テスト」開始時期	P15
「面接試験」開始時期	P18
「内定(内々定)」開始時期	P21
4 選考開始時期の前倒しによる自社採用活動への影響	P24
5 新スケジュールへの考え	P30
【VOICE】	P31

調査概要

<調査趣旨>

経団連は、2017年卒者の採用活動において、選考解禁日を「6月1日」へと2カ月早める内容の指針を正式に発表しました。文部科学省など関係府省からも、近く450の団体に新ルールの遵守を求める予定となっています。

昨年的大幅なスケジュール変更からわずか一年での見直しとなりましたが、企業は今回の再見直しをどのように捉え、そして、新ルール下でどのように採用活動を展開していくのか、注目が集まっています。

そこで、株式会社ディスコでは、全国主要企業を対象に、緊急調査を実施いたしました。

<調査概要>

- 調査対象 : 全国の主要企業 12,731社
- 調査時期 : 2015年12月8日～14日
- 調査方法 : インターネット調査法
- 回答社数 : 2017年度の新卒採用を予定している企業 907社

<<従業員数>>

300人未満	300～999人	1000～4999人	5000人以上
316社	313社	226社	52社

<<株式>>

上場	非上場
243社	664社

<<業界>>

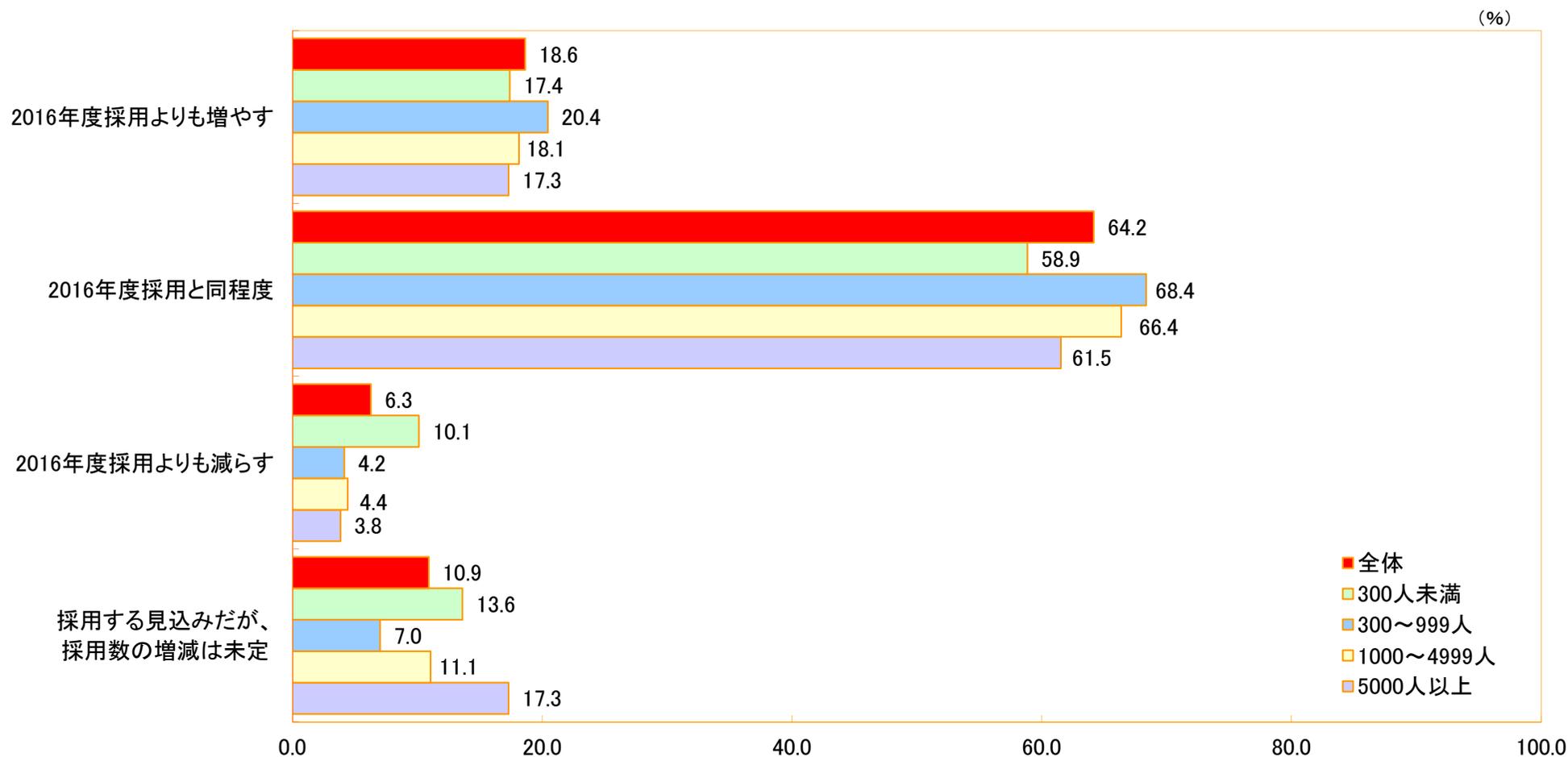
メーカー	商社・流通	金融	IT、情報処理	サービス、その他
313社	193社	51社	140社	212社

<<ビジネスモデル>>

B to B	B to C
622社	285社

【2017年度】採用見込み <全体、規模別>

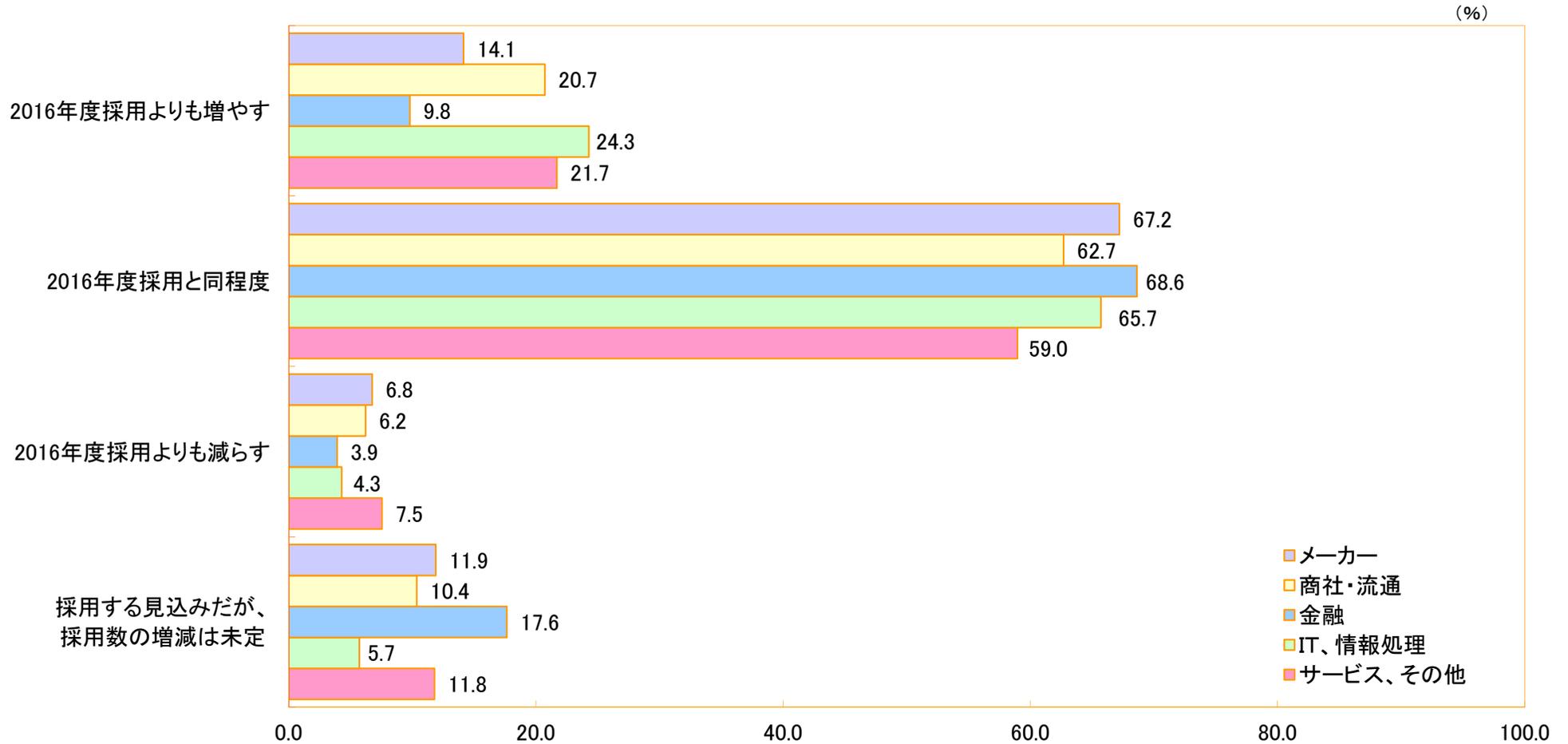
- 2016年度に比べ「増やす」18.6%、「減らす」6.3%で、依然増加傾向が続く見込み。
- 従業員5000人以上の企業で「採用数の増減は未定」が17.3%と、計画の遅れが目立つ。



Q1. 【2017年度】の採用見込みをご回答ください。

【2017年度】採用見込み <業界別>

-「IT、情報処理」で「増やす」が最多(24.3%)。「サービス、その他」「商社・流通」も20%超と拡大傾向が強い。
-「金融」は「増やす」「減らす」ともに最少で、前年度との変化が少ない見込み。

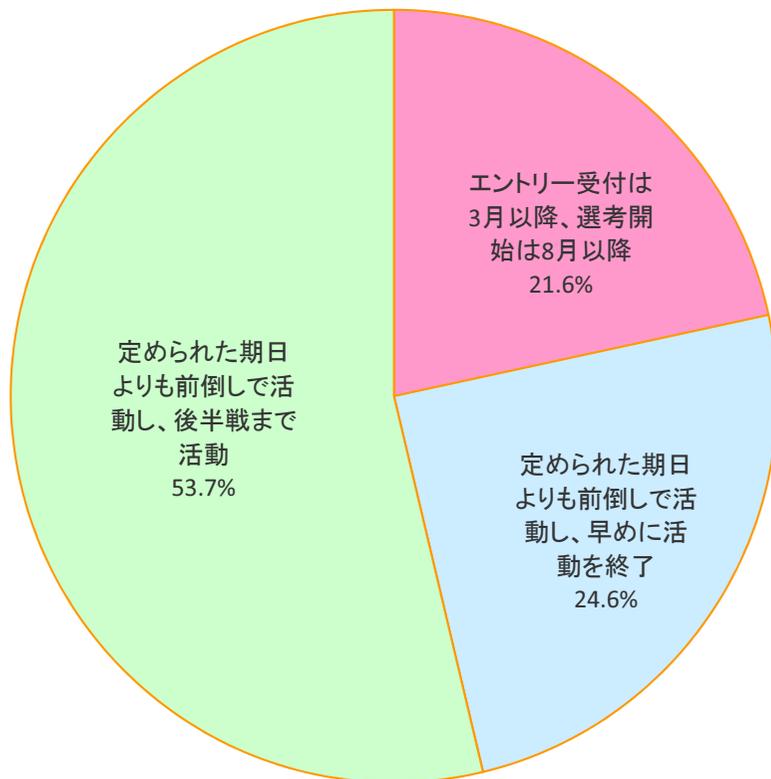


Q1. 【2017年度】の採用見込みをご回答ください。

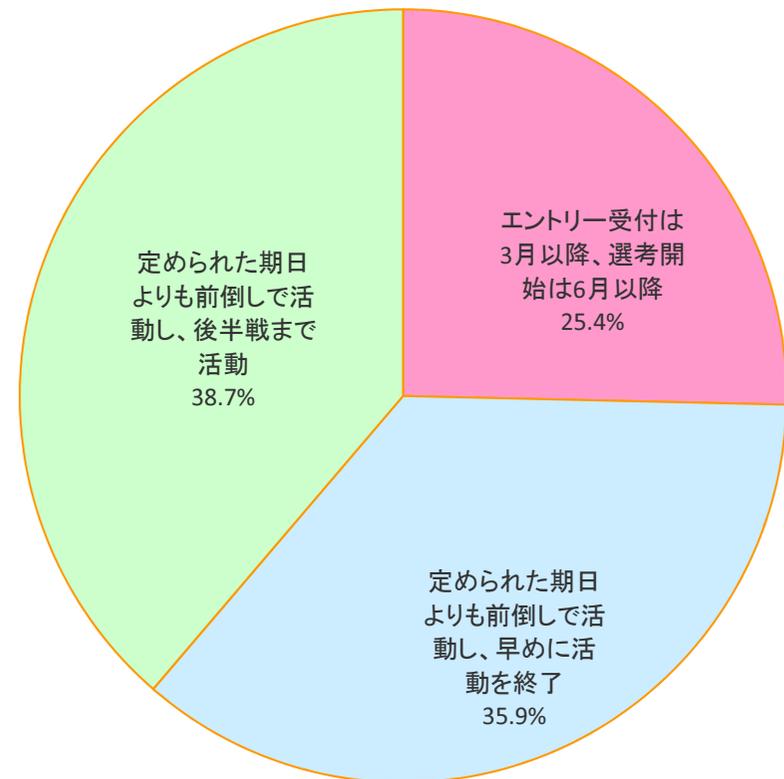
【2016年度】【2017年度】採用活動スタイル <全体>

- 2016年度は「定められた期日を守った」企業が21.6%だったのに対し、2017年度は25.4%と微増。
- 「後半戦まで活動」する企業は2016年度の53.7%から2017年度は38.7%に減少し、採用活動は短期化する見通し。

【2016年度】



【2017年度】



Q3-1. 貴社の【2016年度】の採用活動スタイルは、次のうち、どれが一番近いですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。

Q3-2. 貴社の【2017年度】の採用活動スタイルは、どれが一番近くなる予定ですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。

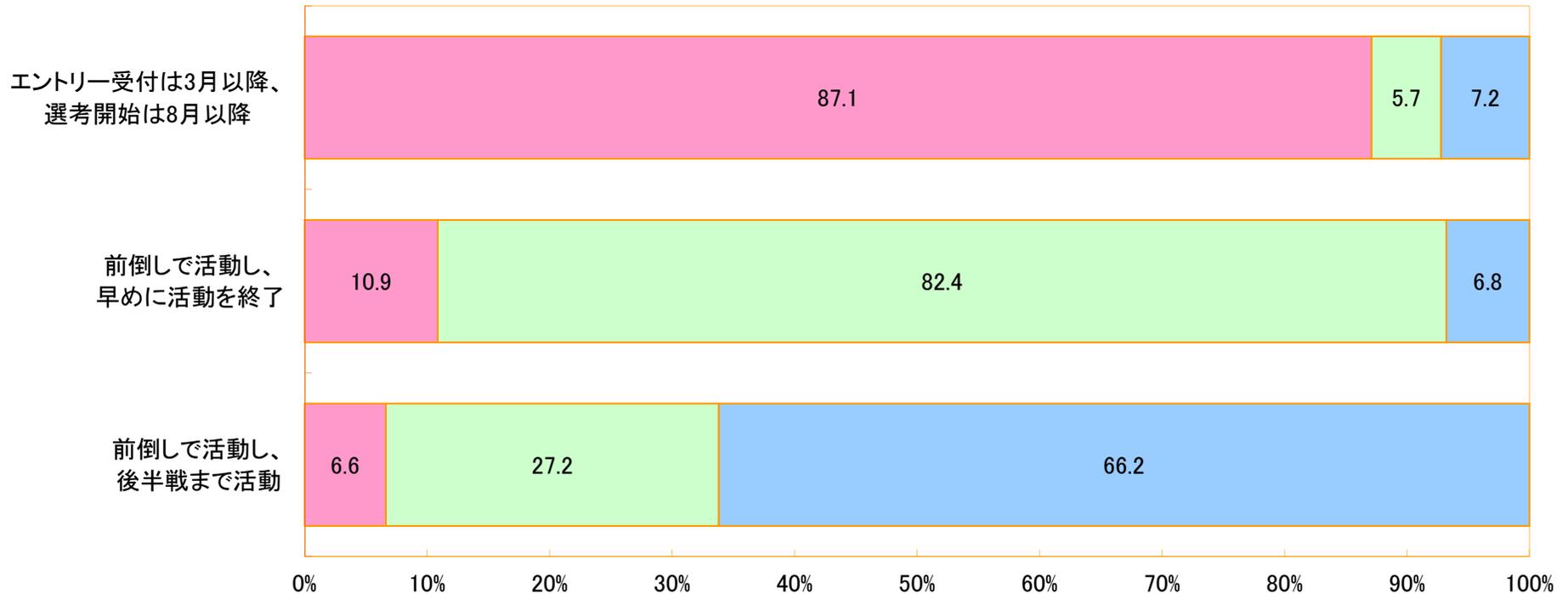
【2016年度】【2017年度】採用活動スタイル <前年活動スタイル別>

- 2016年度期日を守って活動した企業のうち87.1%は、2017年度も期日を守ると回答。
- 2016年度で「前倒しで活動し、後半戦まで活動」した企業の27.2%は、2017年度は「早めに活動を終了」予定。

【2017年度】

- エントリー受付は3月以降、選考開始は6月以降
- 定められた期日より前倒しで活動し、早めに活動を終了
- 定められた期日より前倒しで活動し、後半戦まで活動

【2016年度】



Q3-1. 貴社の【2016年度】の採用活動スタイルは、次のうち、どれに一番近いですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。

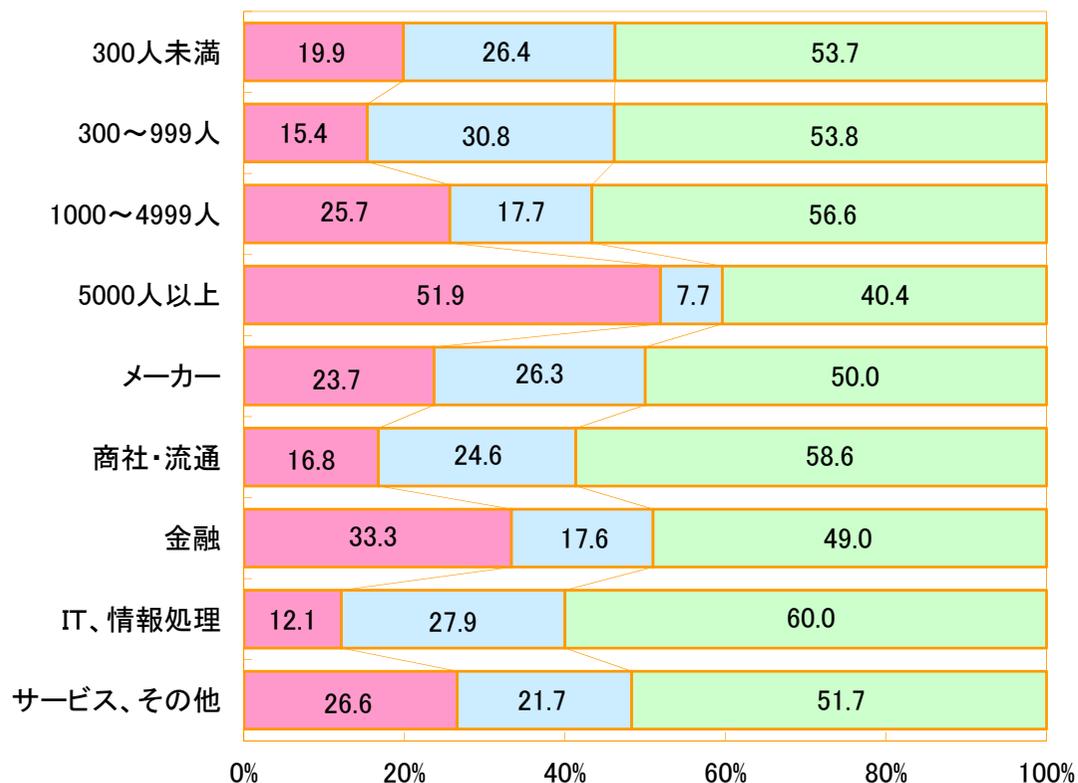
Q3-2. 貴社の【2017年度】の採用活動スタイルは、どれに一番近くなる予定ですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。

【2016年度】【2017年度】採用活動スタイル <規模別、業界別>

- 前年度同様5000人以上の企業の過半数が「定められる期日を守る」予定。
- 2017年度は「金融」で「期日を守る」企業が増加。「IT、情報処理」で早期終了を予定する企業が大幅増加（17.1ポイント）。

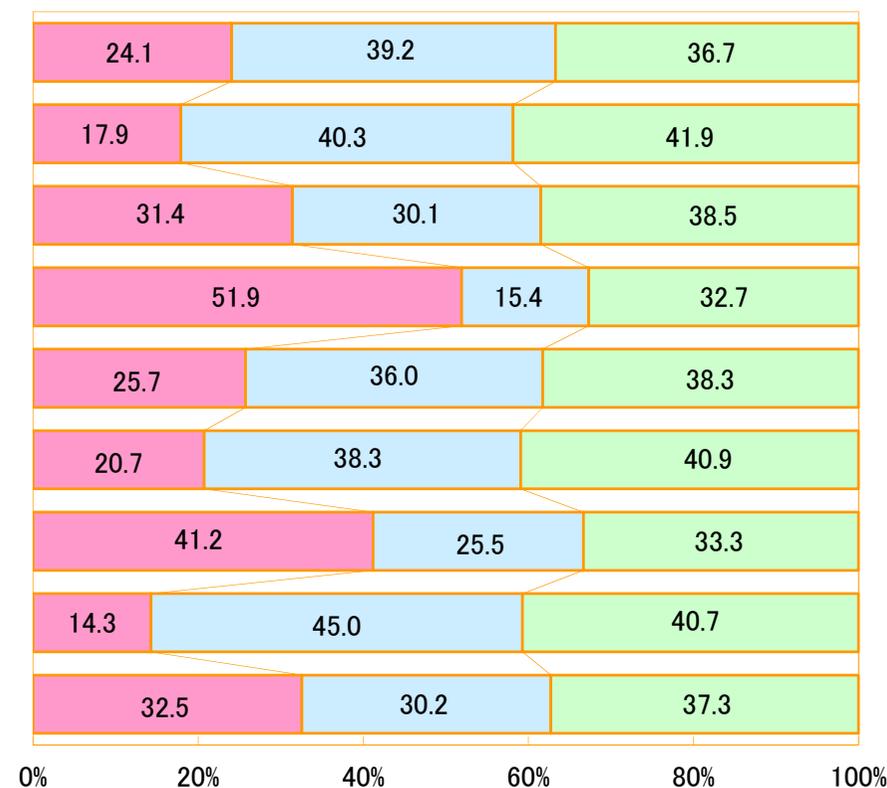
【2016年度】

- エントリー受付は3月以降、選考開始は8月以降
- 定められた期日より前倒しで活動し、早めに活動を終了
- 定められた期日より前倒しで活動し、後半戦まで活動



【2017年度】

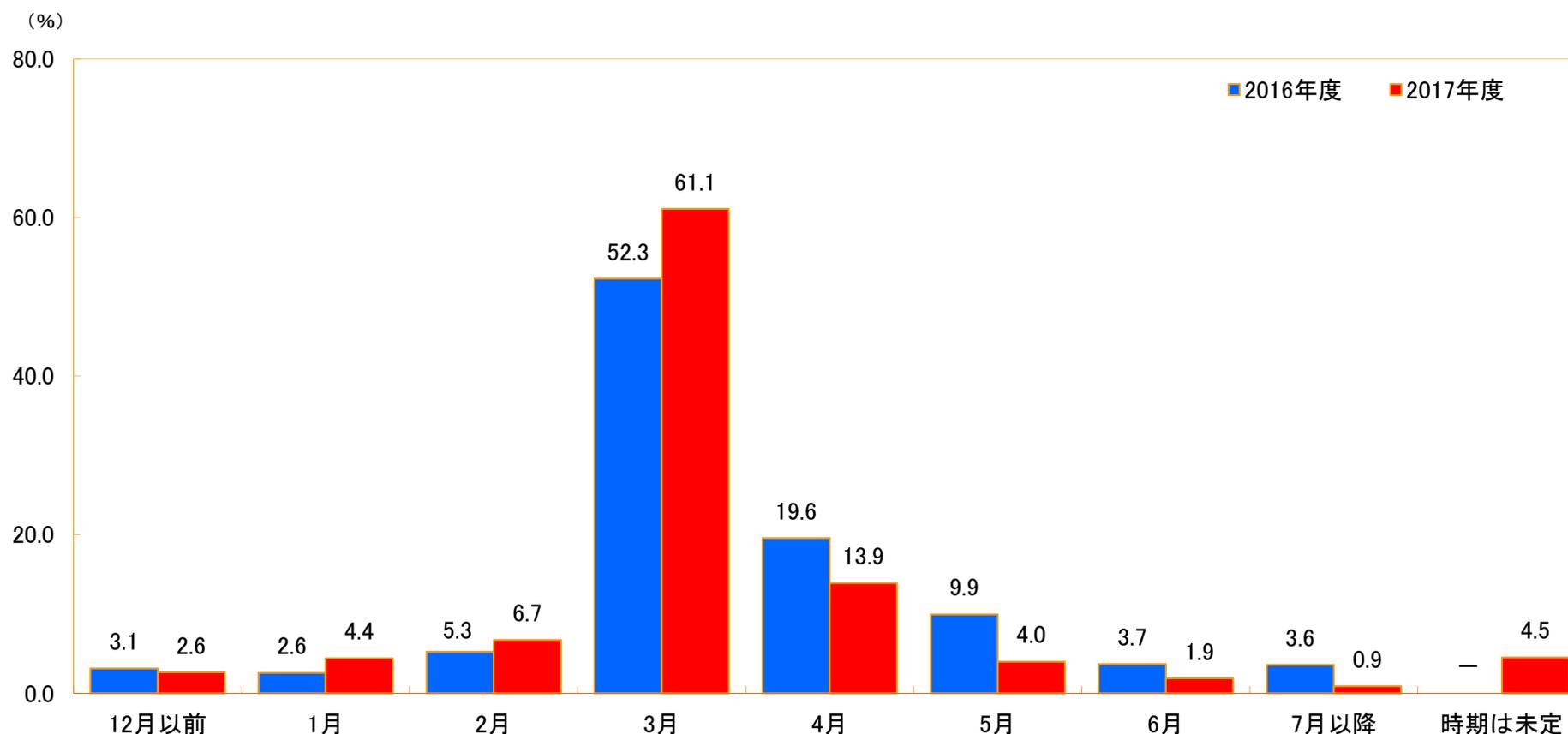
- エントリー受付は3月以降、選考開始は6月以降
- 定められた期日より前倒しで活動し、早めに活動を終了
- 定められた期日より前倒しで活動し、後半戦まで活動



Q3-1. 貴社の【2016年度】の採用活動スタイルは、次のうち、どれが一番近いですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。
 Q3-2. 貴社の【2017年度】の採用活動スタイルは、どれが一番近くなる予定ですか。※最も近いと思われるものをご選択ください。

【2016年度】【2017年度】「自社セミナー」開始時期 <2カ年比較>

- 開始のピークは前年同様3月だが、2016年度52.3%から2017年度61.1%と増加し、解禁月への集中度が高まる見込み。
- 解禁前の開始は、2016年度11.0%から2017年度13.7%へと微増。

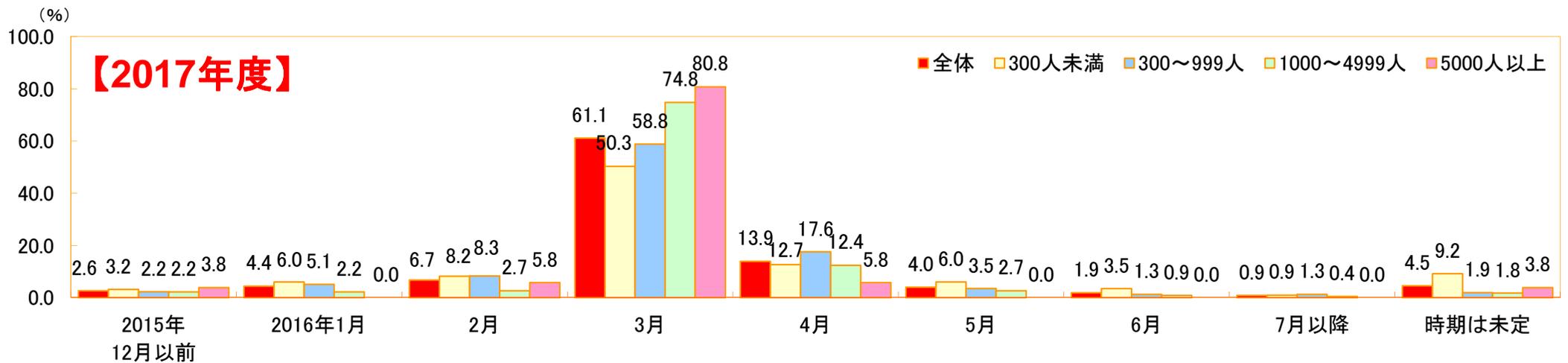
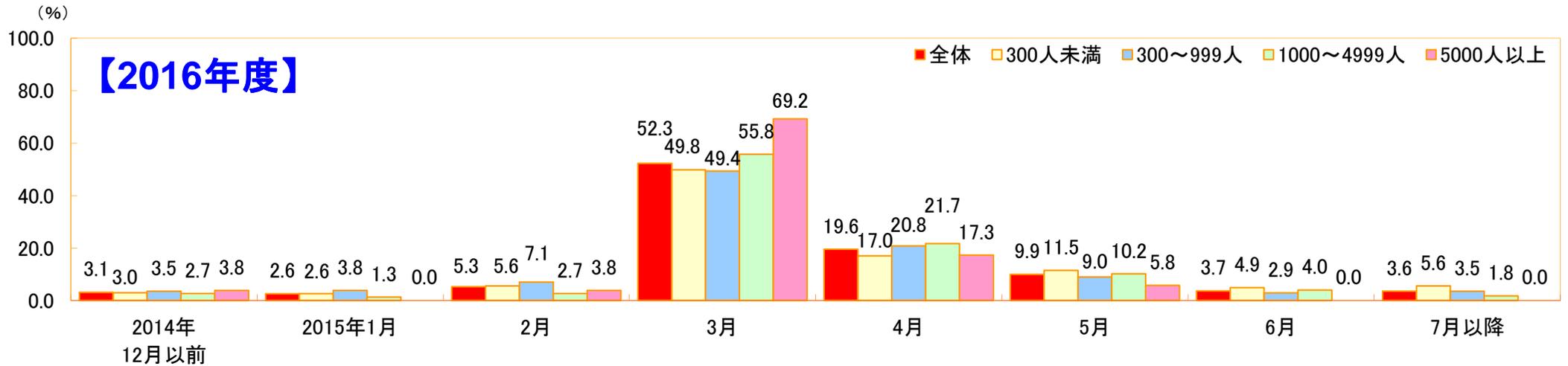


Q2-1-1. 【2016年度】の「自社セミナー」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-1-2. 【2017年度】の「自社セミナー」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「自社セミナー」 開始時期 <全体、規模別>

- 3月開始が、1000人～4999人の企業で約2割増加（19.0ポイント増）。すべての規模で3月に集中。
- 300人未満の企業では、解禁前が11.1%から17.4%へと増加傾向。

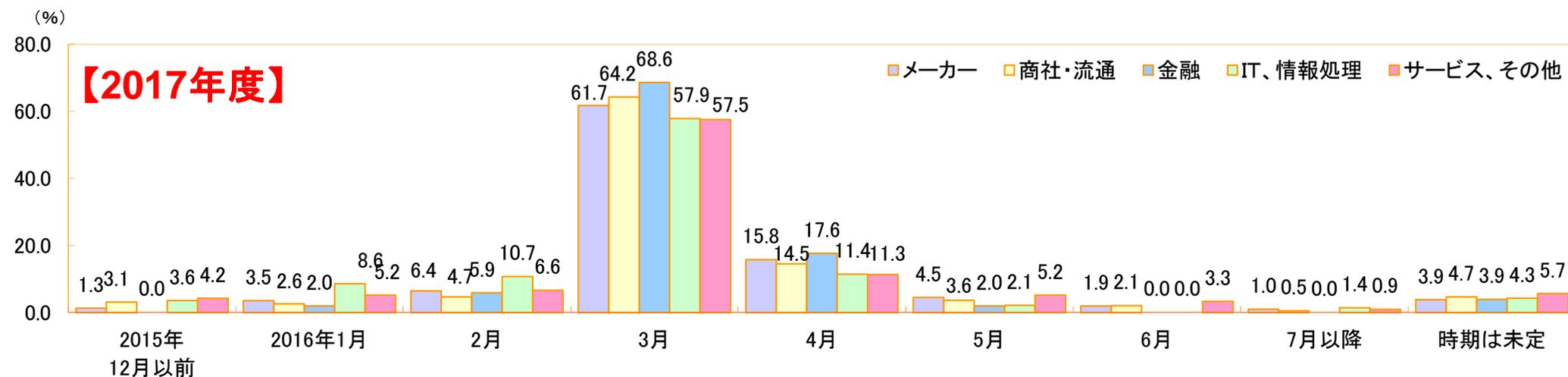
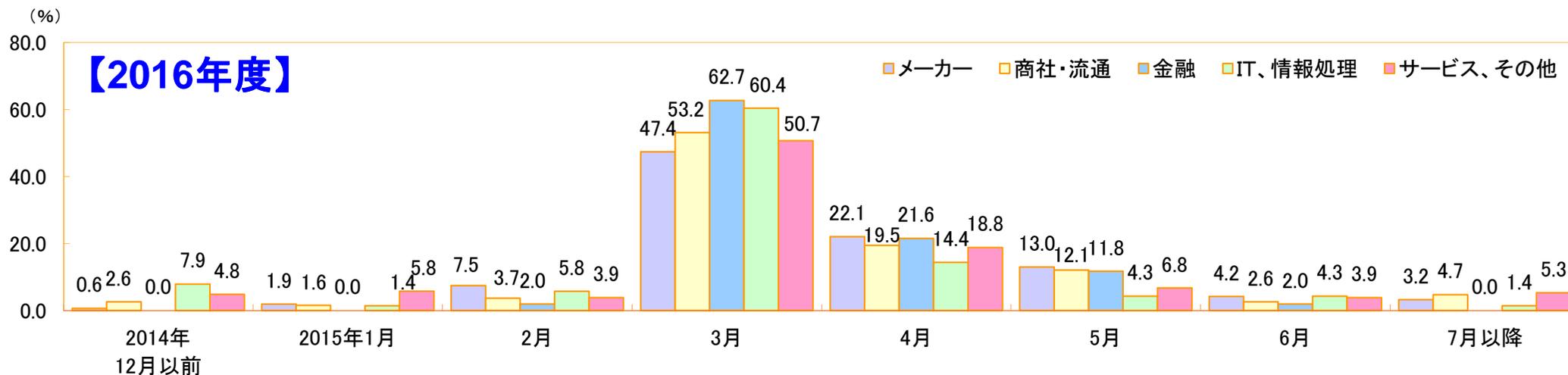


Q2-1-1. 【2016年度】の「自社セミナー」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-1-2. 【2017年度】の「自社セミナー」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「自社セミナー」 開始時期 <業界別>

- 3月開始が「メーカー」で14.3ポイント増加、「商社・流通」で11.0ポイント増加するなど、すべての業界で3月に集中。
- ただし、「IT、情報処理」は3月開始が減少し(2.6ポイント減)、解禁前が15.1%から22.9%に増加。

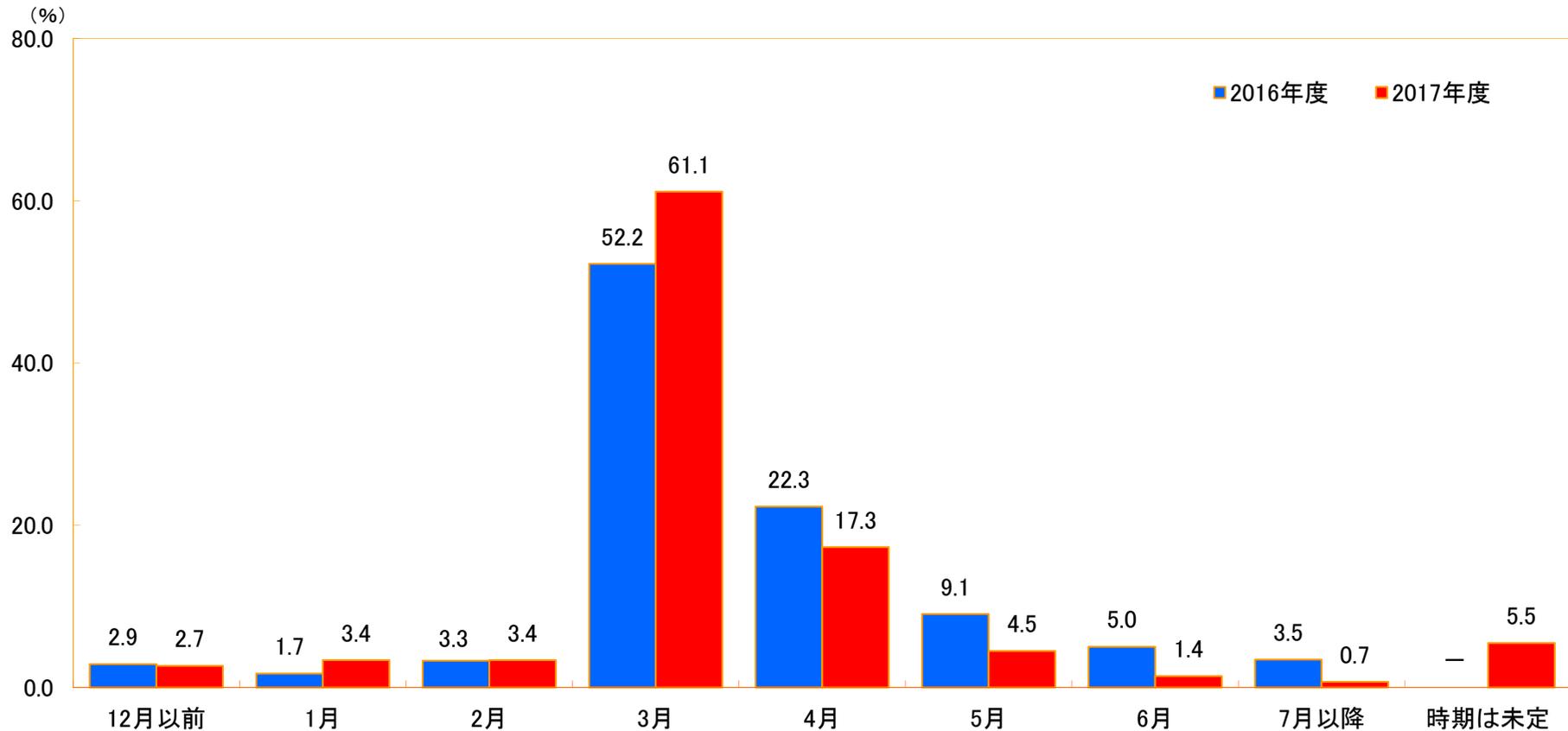


Q2-1-1. 【2016年度】の「自社セミナー」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-1-2. 【2017年度】の「自社セミナー」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】【2017年度】「エントリーシート受付」開始時期 <2カ年比較>

- 3月開始が52.2%から61.1%へと8.9ポイント増加し、集中度が高まる。
- 「自社セミナー」同様、採用広報解禁直後にエントリーシートの受付を開始する企業が6割を超える。

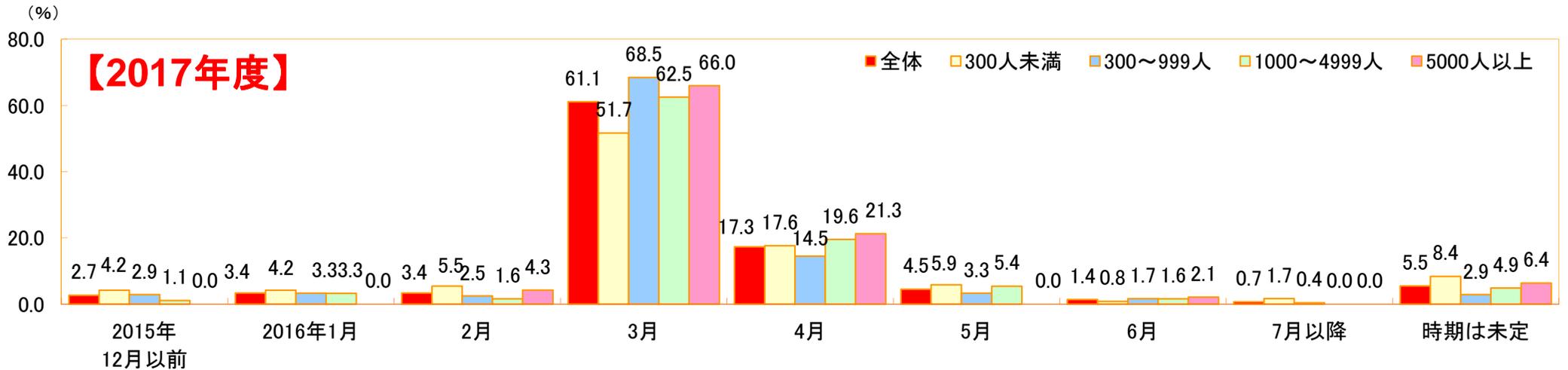
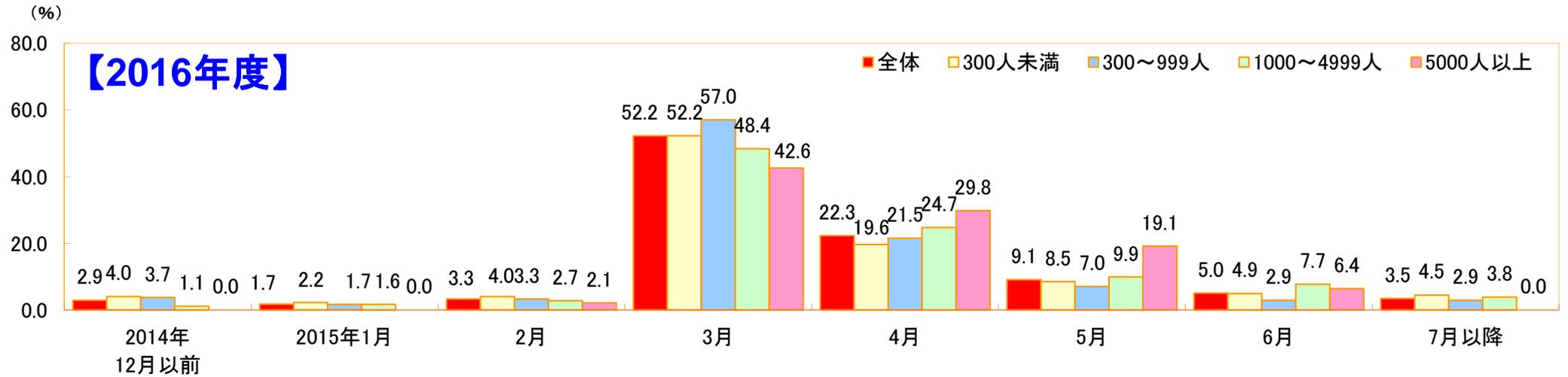


Q2-2-1. 【2016年度】の「エントリーシート受付」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-2-2. 【2017年度】の「エントリーシート受付」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「エントリーシート受付」 開始時期 <全体、規模別>

- 2016年度ではやや遅めの傾向があった5000人以上の企業において、3月開始が23.4ポイント増加。
- 300～999人、1000～4999人の企業でも3月開始が増加し、前倒し傾向が顕著。

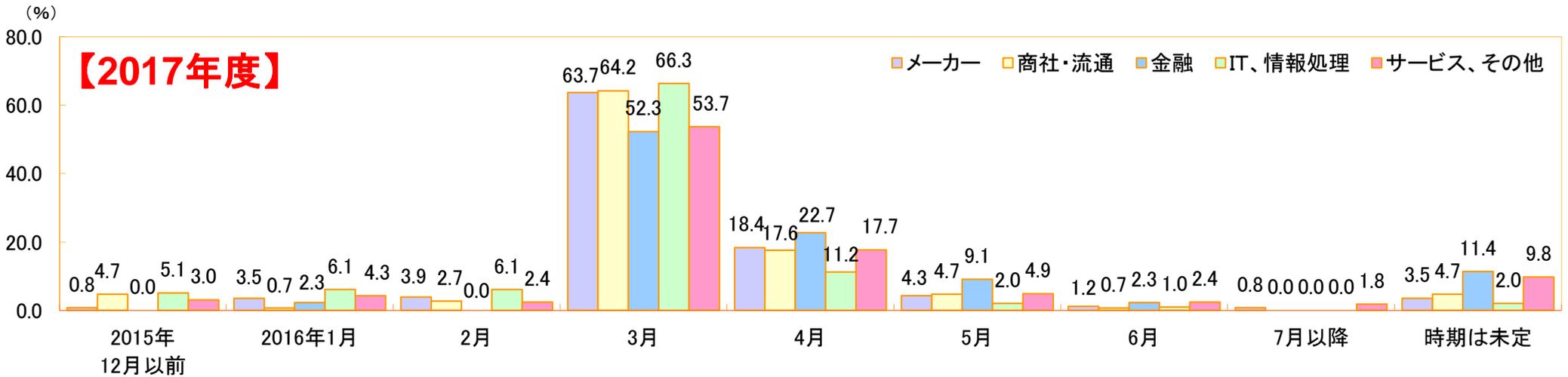
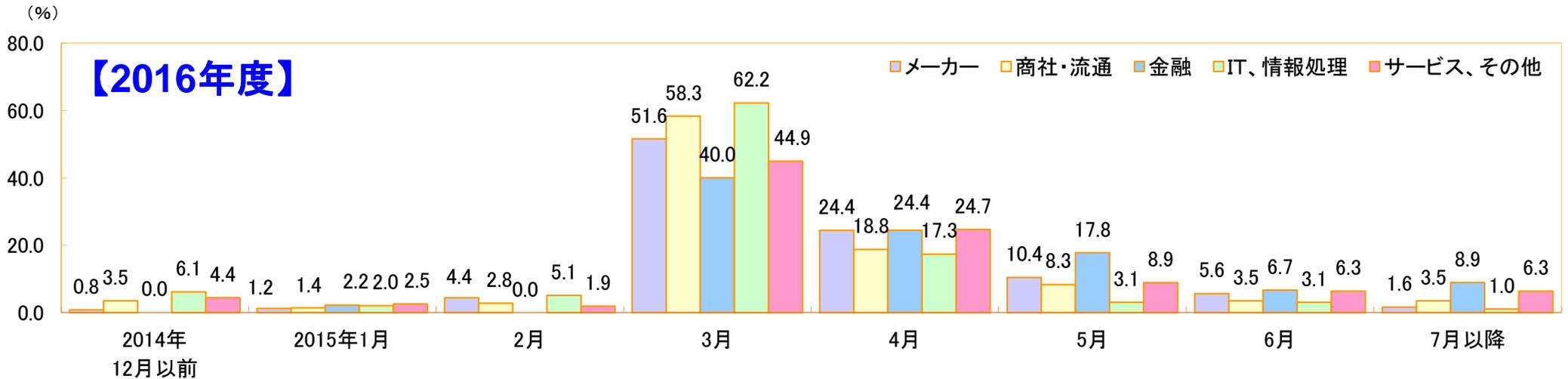


Q2-2-1. 【2016年度】の「エントリーシート受付」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-2-2. 【2017年度】の「エントリーシート受付」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「エントリーシート受付」 開始時期 <業界別>

- 全業界で解禁直後の集中度が高まり、「メーカー」「金融」で12ポイント以上、3月開始が増加。
- 「IT、情報処理」は特に3月に集中(66.3%)。解禁前の開始も17.3%と早い動きが目立つ。

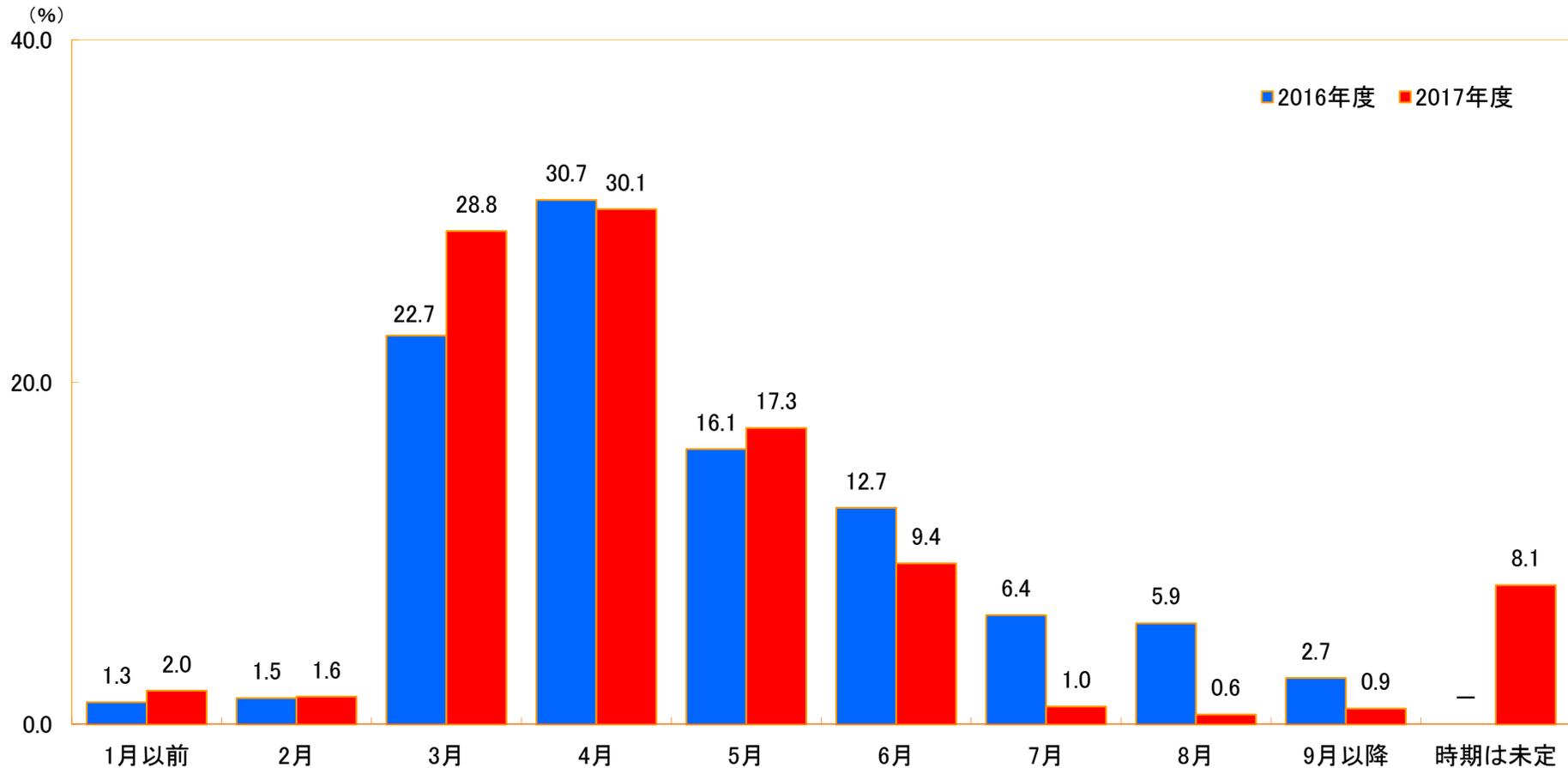


Q2-2-1. 【2016年度】の「エントリーシート受付」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-2-2. 【2017年度】の「エントリーシート受付」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】【2017年度】「筆記・適性テスト」開始時期 <2カ年比較>

- 開始のピークは4月(30.1%)だが、解禁月の3月開始もほぼ同数(28.8%)。
- 採用広報期間短縮により、エントリーから選考開始までの期間が短縮する企業が増える見込み。

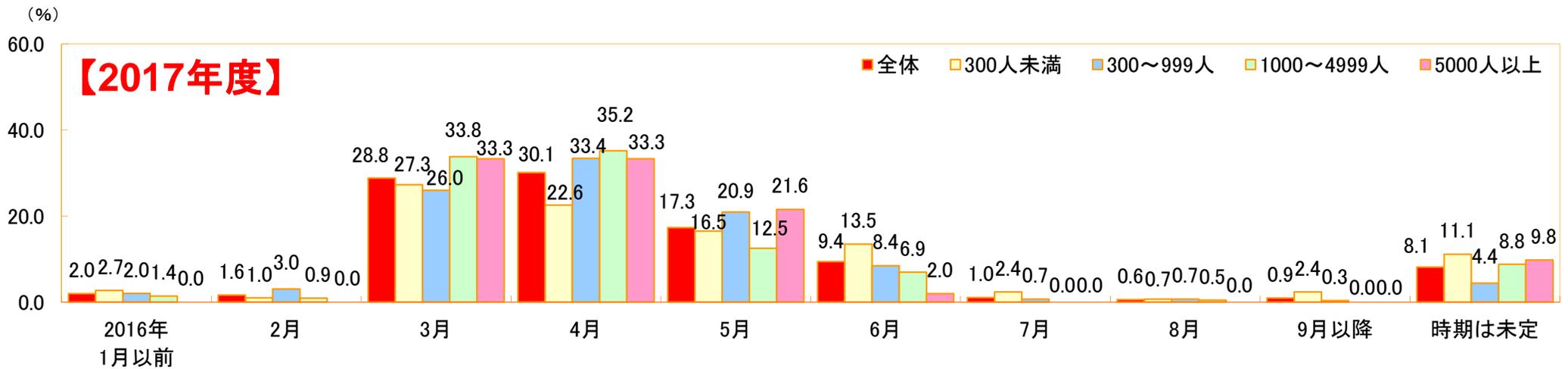
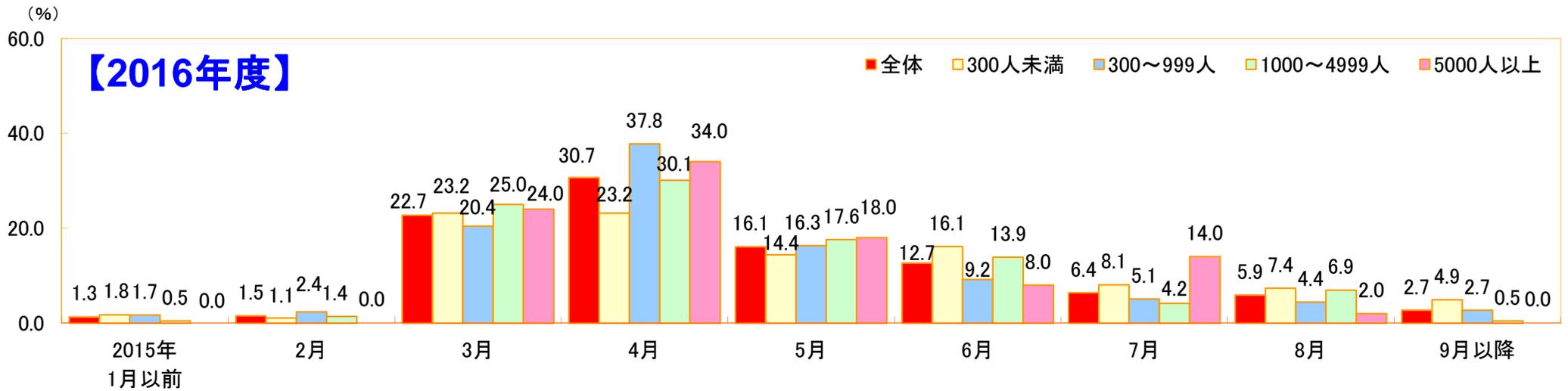


Q2-3-1. 【2016年度】の「筆記・適性テスト」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

Q2-3-2. 【2017年度】の「筆記・適性テスト」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

【2016年度】 【2017年度】 「筆記・適性テスト」 開始時期 <全体、規模別>

- 1000人～4999人の企業の7割以上(71.3%)が4月までに筆記・適性テストを開始。
- 300人未満の企業は3月に開始ピークを迎える(27.3%)が、全体的に分散化の傾向。

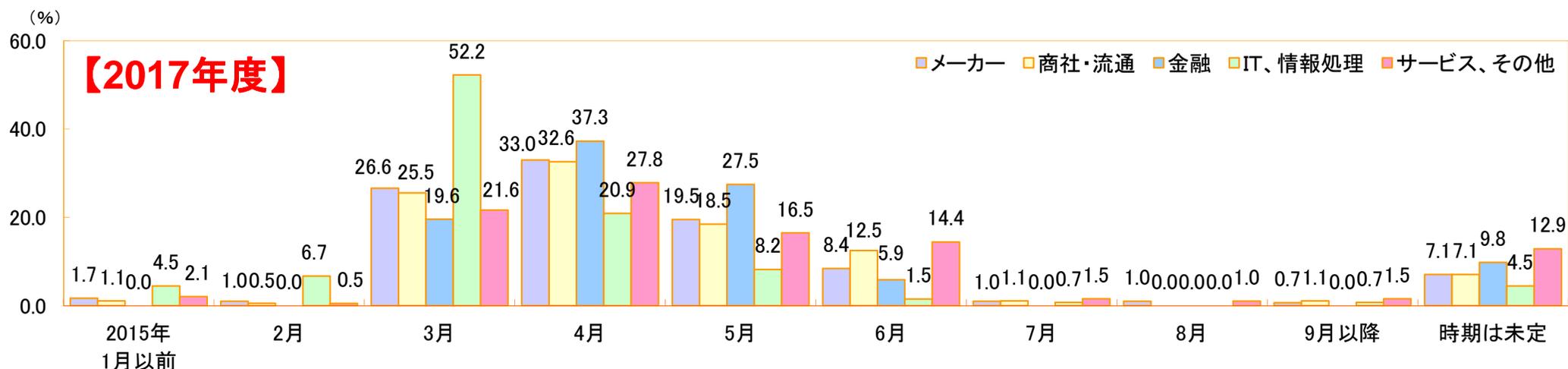
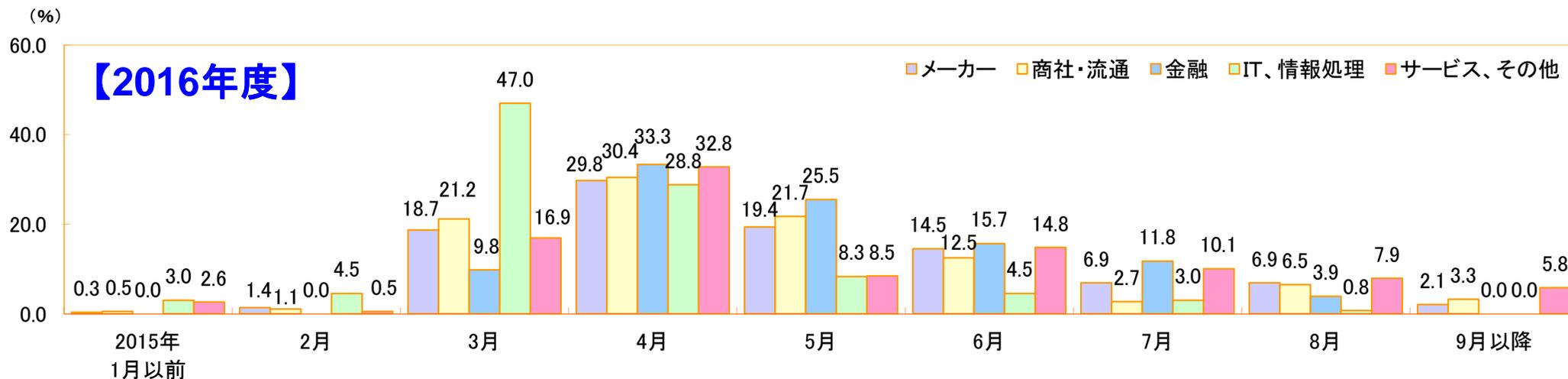


Q2-3-1. 【2016年度】の「筆記・適性テスト」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

Q2-3-2. 【2017年度】の「筆記・適性テスト」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

【2016年度】【2017年度】「筆記・適性テスト」開始時期 <業界別>

- 「IT、情報処理」で3月に過半数(52.2%)が集中。3月より前も11.2%で、ES受付同様早い動きが顕著。
- 「金融」は4月(37.3%)に次いで5月(27.5%)と、その他の業界よりやや遅い傾向。

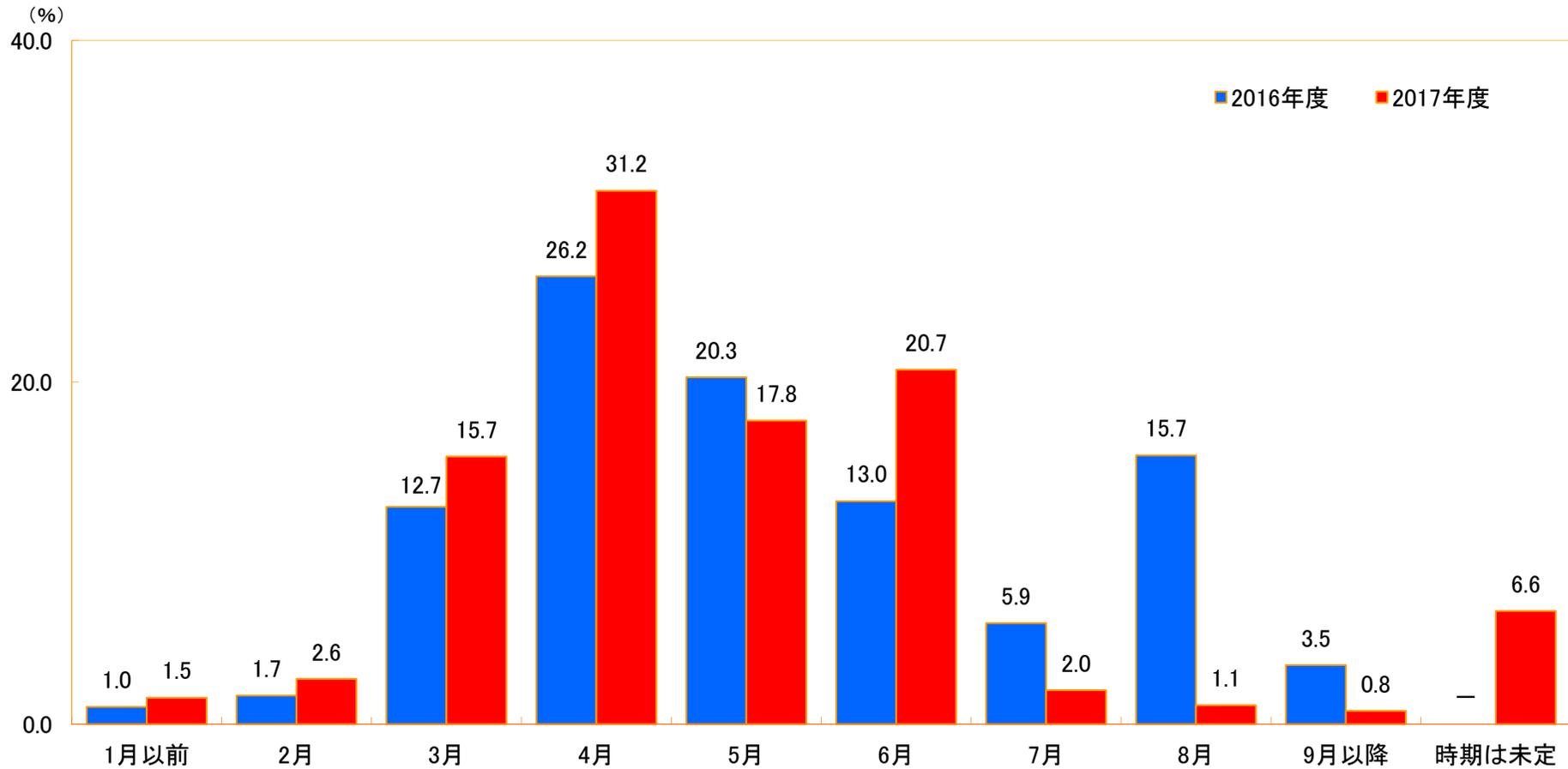


Q2-3-1. 【2016年度】の「筆記・適性テスト」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

Q2-3-2. 【2017年度】の「筆記・適性テスト」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。※WEB上で行うものも含めてご回答ください。

【2016年度】【2017年度】「面接試験」開始時期 <2カ年比較>

- 選考解禁月以降に面接を開始する企業は、2016年度の19.2%から2017年度は24.6%と増加する見込み。
- ただし、3月開始は3.0ポイント、4月開始は5.0ポイント増加し、早期化の傾向がうかがえる。

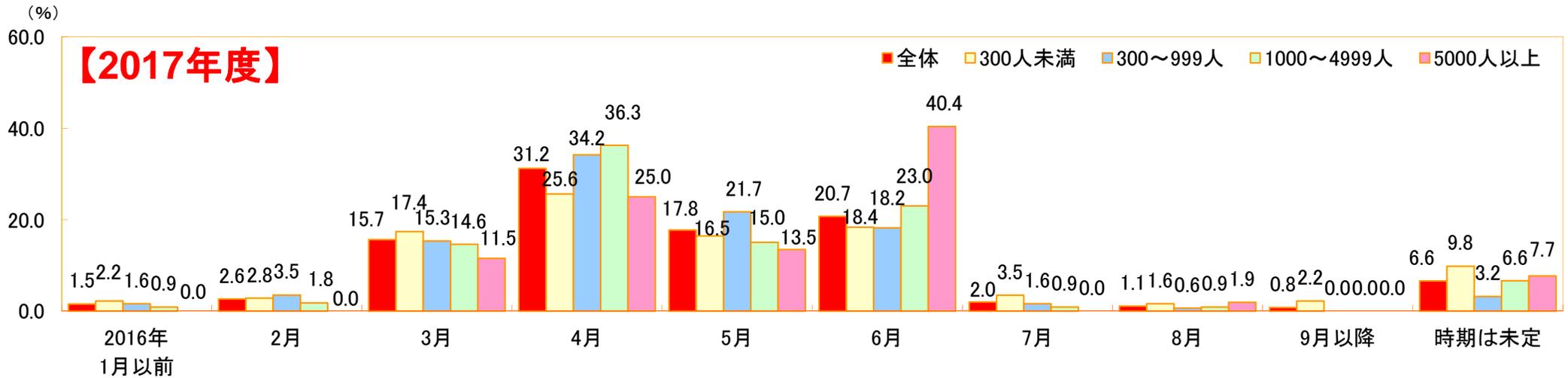
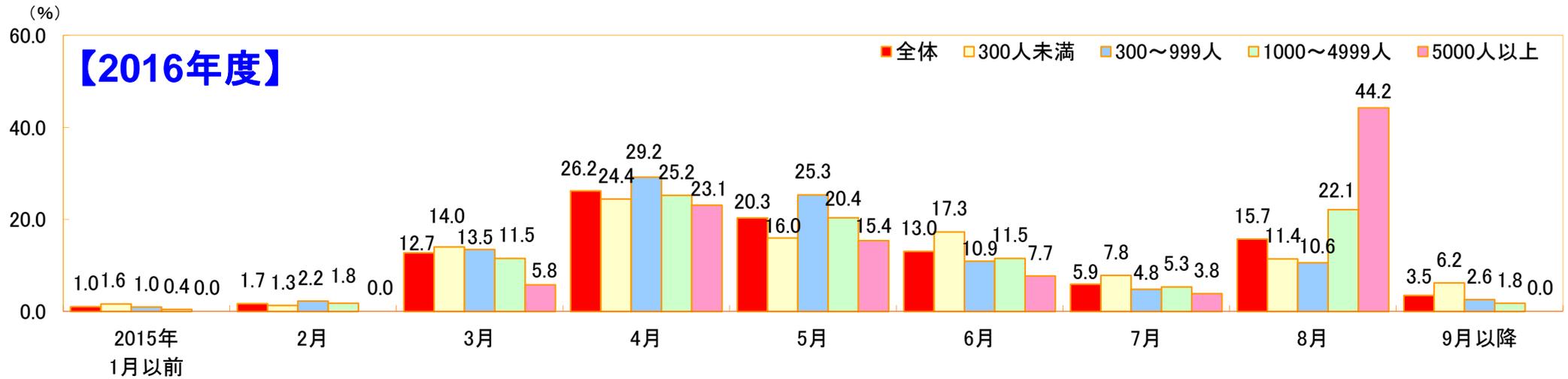


Q2-4-1. 【2016年度】の「面接試験」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-4-2. 【2017年度】の「面接試験」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「面接試験」 開始時期 <全体、規模別>

- 300～999人の企業で、選考解禁の6月より前に面接を開始すると回答した企業は76.4%にのぼる。
- 5000人以上の企業では解禁月の6月に集中(40.4%)するものの、半数(50.0%)は解禁前に開始予定。

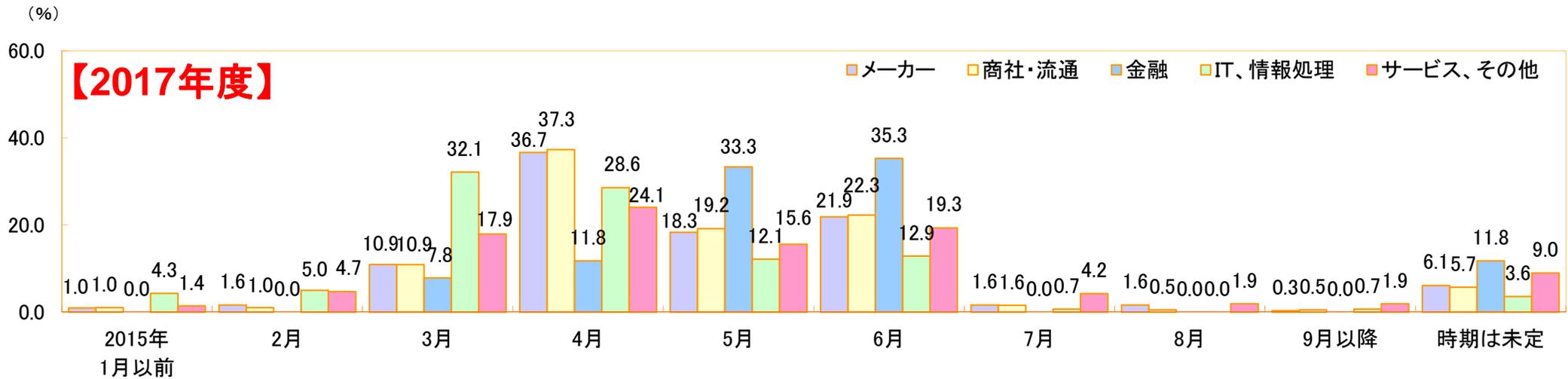
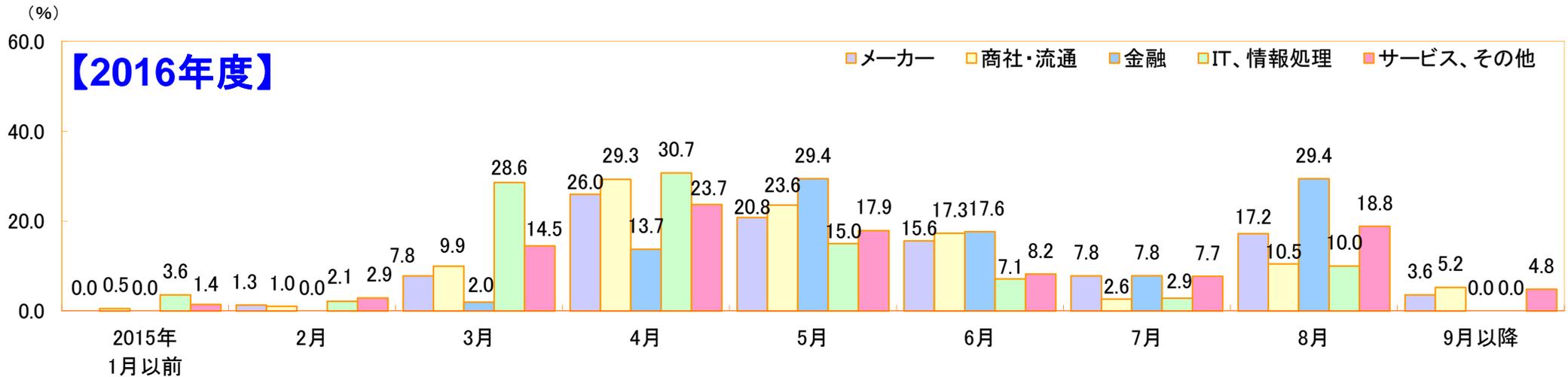


Q2-4-1. 【2016年度】の「面接試験」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-4-2. 【2017年度】の「面接試験」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】 【2017年度】 「面接試験」 開始時期 <業界別>

- 解禁月の6月に面接を開始する企業は「金融」で最多だが、35.3%にとどまる。
 - 「IT、情報処理」は3月が最も多く(32.1%)、早期スタートが目立つ。その他の業界では4月開始が最多。

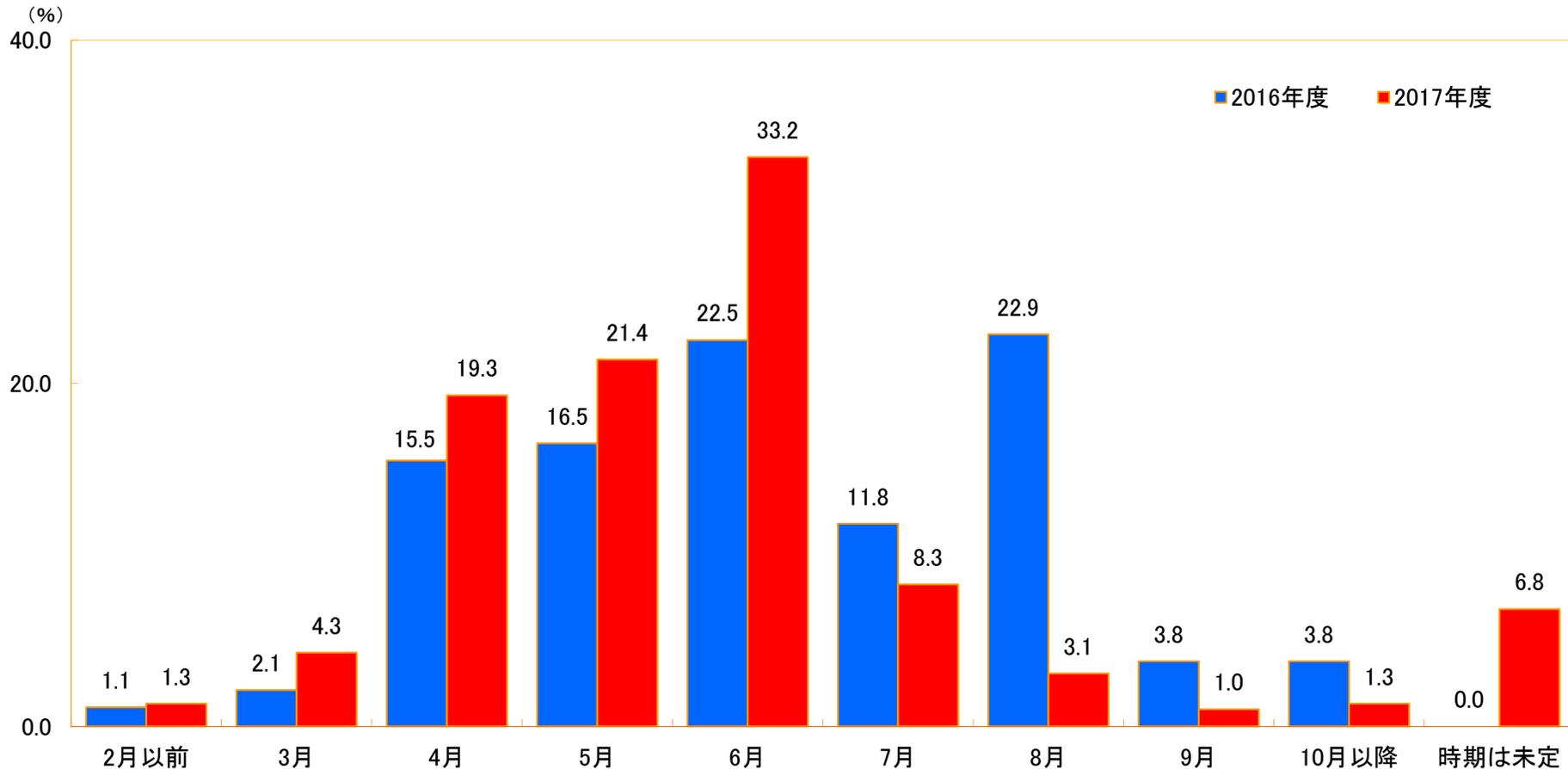


Q2-4-1. 【2016年度】の「面接試験」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-4-2. 【2017年度】の「面接試験」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】【2017年度】「内定(内々定)」開始時期 <2カ年比較>

- 選考解禁前の内定出し開始は、2016年度で7割(69.6%)にのぼっていたが、2017年度は46.3%に減少見込み。
- ただし、4月開始は3.8ポイント、5月開始は4.9ポイント増加し、早期化の傾向がうかがえる。

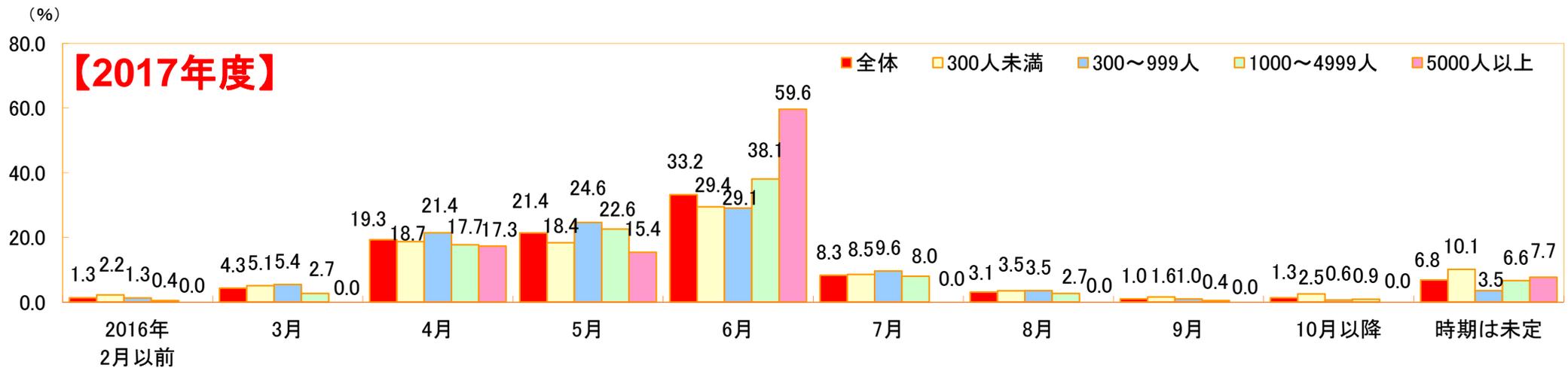
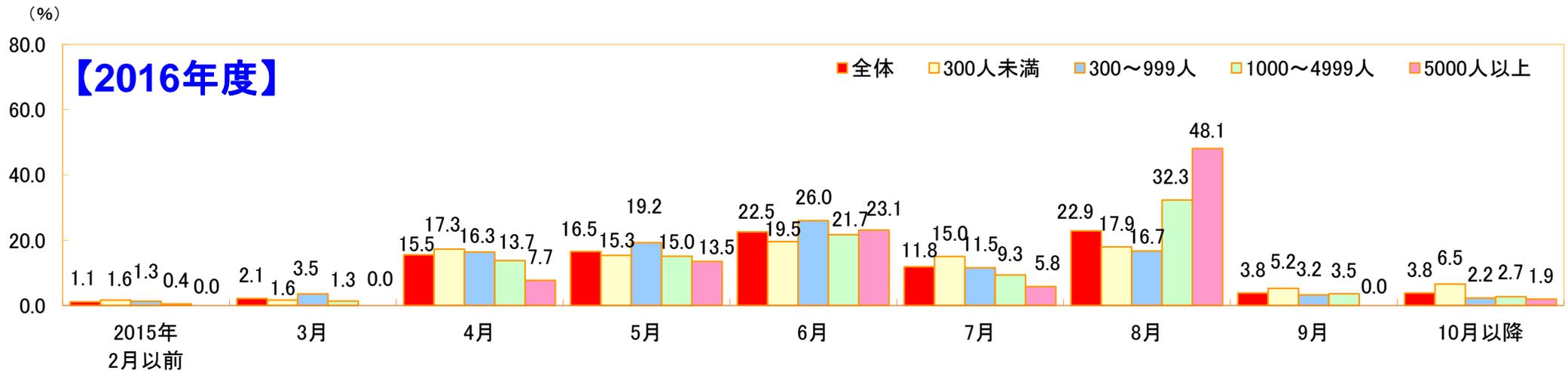


Q2-5-1. 【2016年度】の「内定(内々定)」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-5-2. 【2017年度】の「内定(内々定)」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】【2017年度】「内定(内々定)」開始時期 <全体、規模別>

- すべての規模で、解禁月の6月が最多。特に5000人以上の企業は6月に集中(59.6%)。
- 300~999人の企業で過半数(52.7%)が、解禁前に内定出し開始予定。

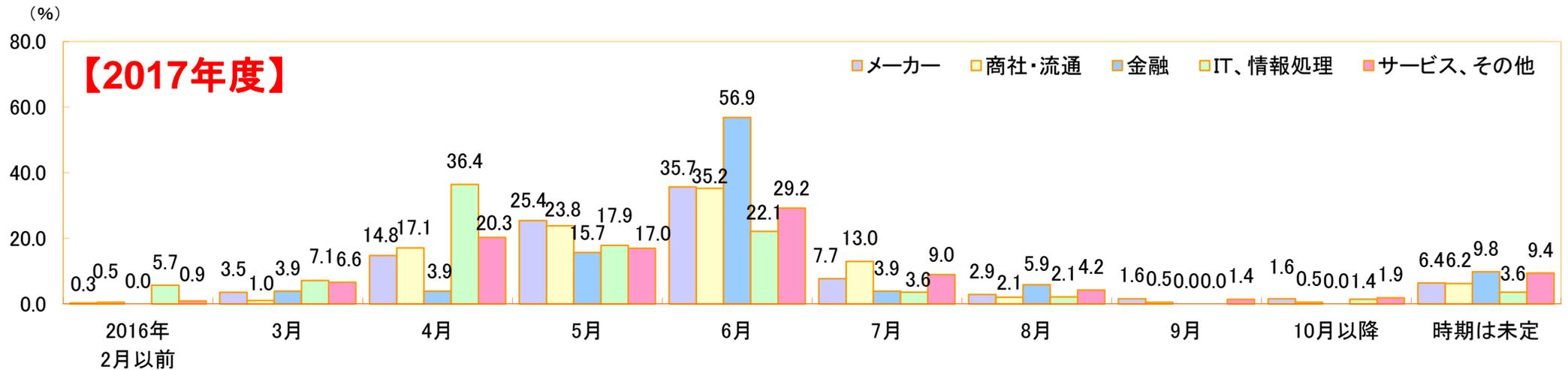
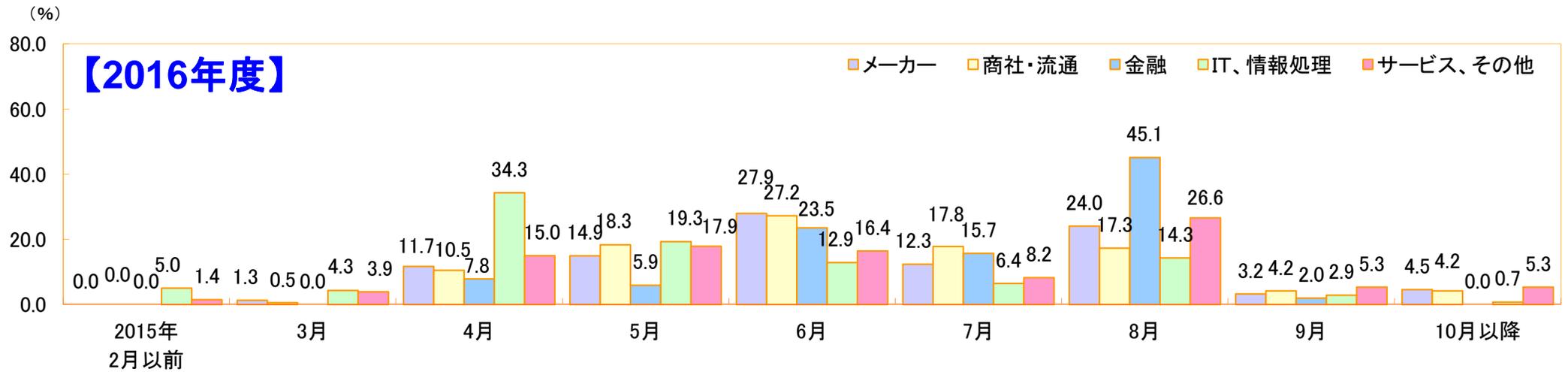


Q2-5-1. 【2016年度】の「内定(内々定)」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-5-2. 【2017年度】の「内定(内々定)」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2016年度】【2017年度】「内定(内々定)」開始時期 <業界別>

- 業界別では、面接開始時期同様に、「金融」で6月が圧倒的に多い(56.9%)。
- 「IT、情報処理」は4月の36.4%が最多、解禁前に内定出しする企業は合計67.1%。その他の業界は6月が最多。

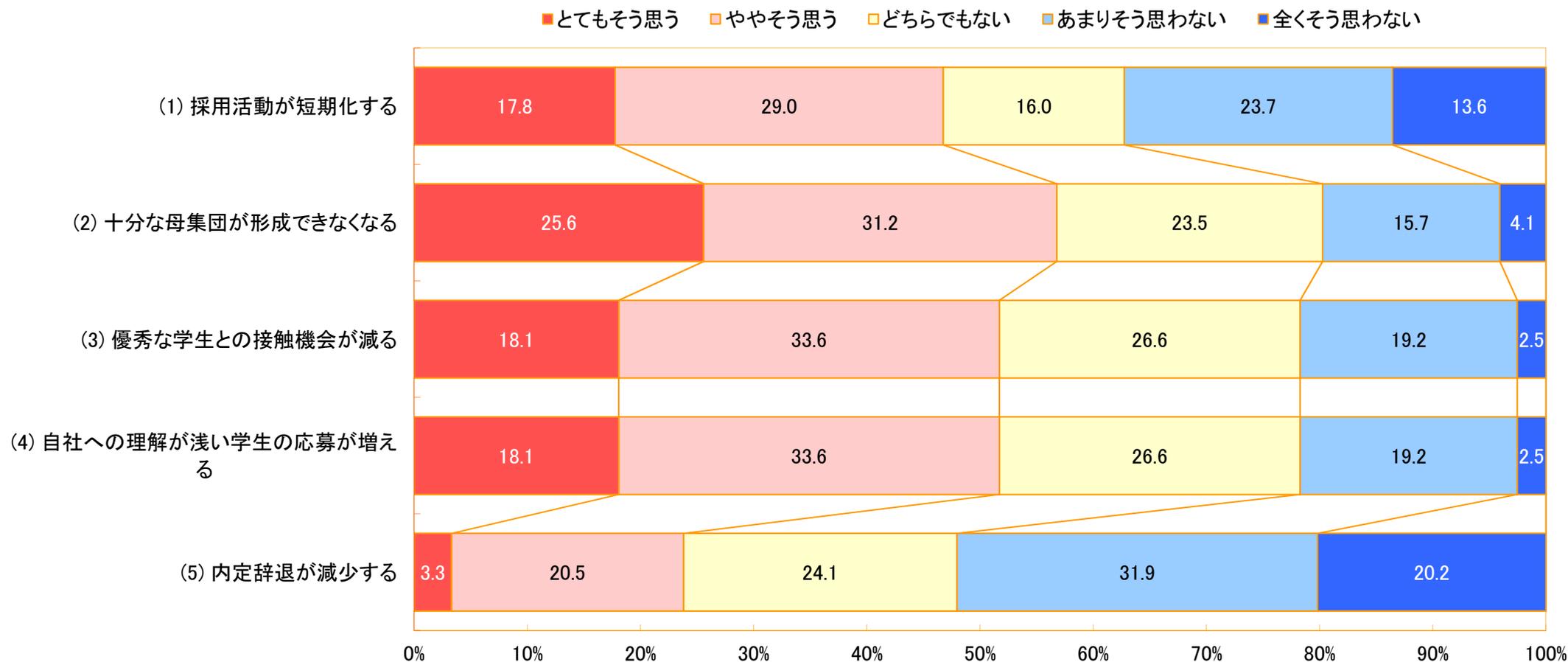


Q2-5-1. 【2016年度】の「内定(内々定)」の開始時期(実績)について、あてはまるものをお選びください。

Q2-5-2. 【2017年度】の「内定(内々定)」の開始予定時期について、あてはまるものをお選びください。

【2017年度】選考開始時期の前倒しによる自社採用活動への影響

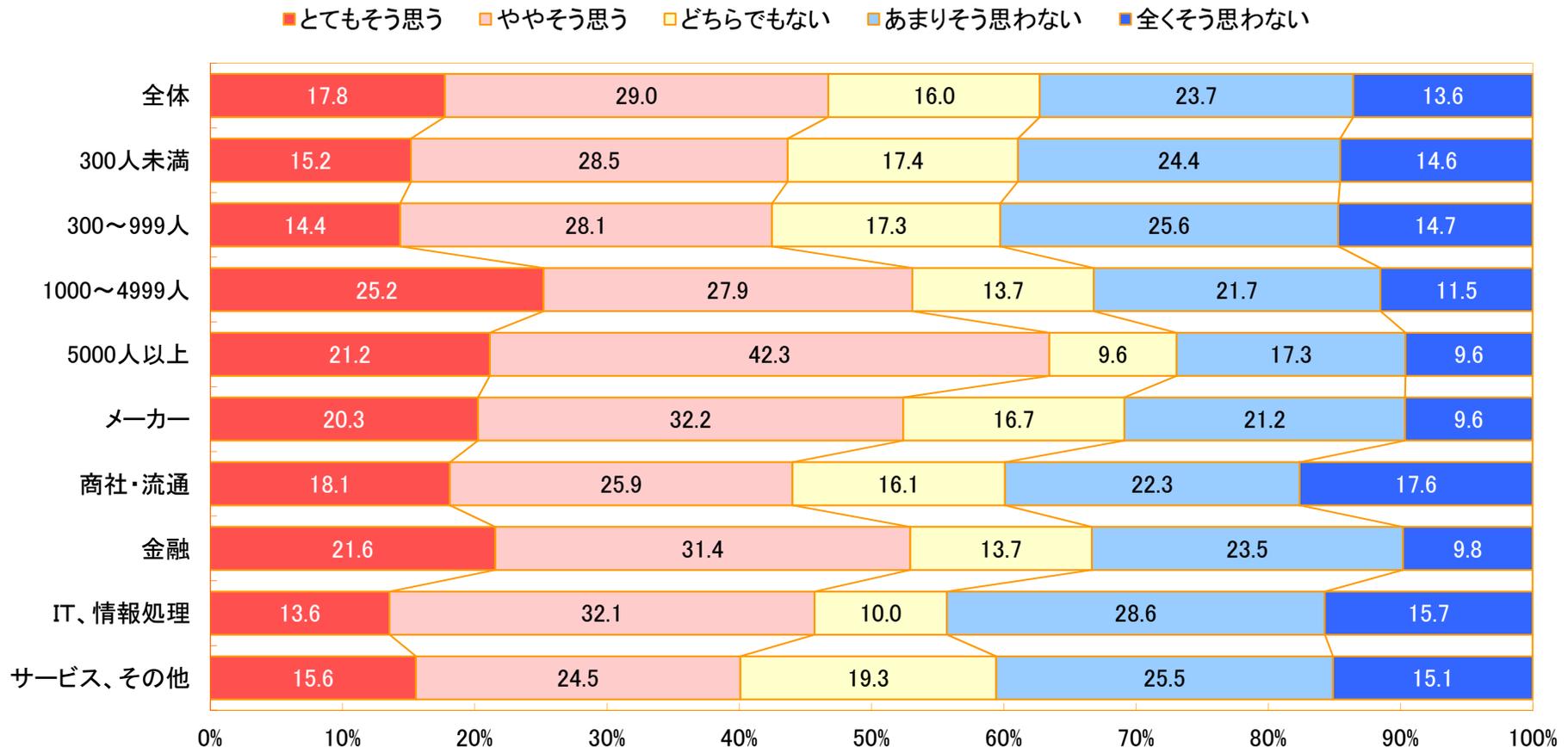
- 選考解禁時期の前倒しの影響として、過半数(56.8%)の企業が十分な母集団形成ができなくなると予想。
- 内定辞退は約半数(52.1%)が「減少しない」と予想。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。

【2017年度】 自社採用活動への影響 (1) 採用活動が短期化する

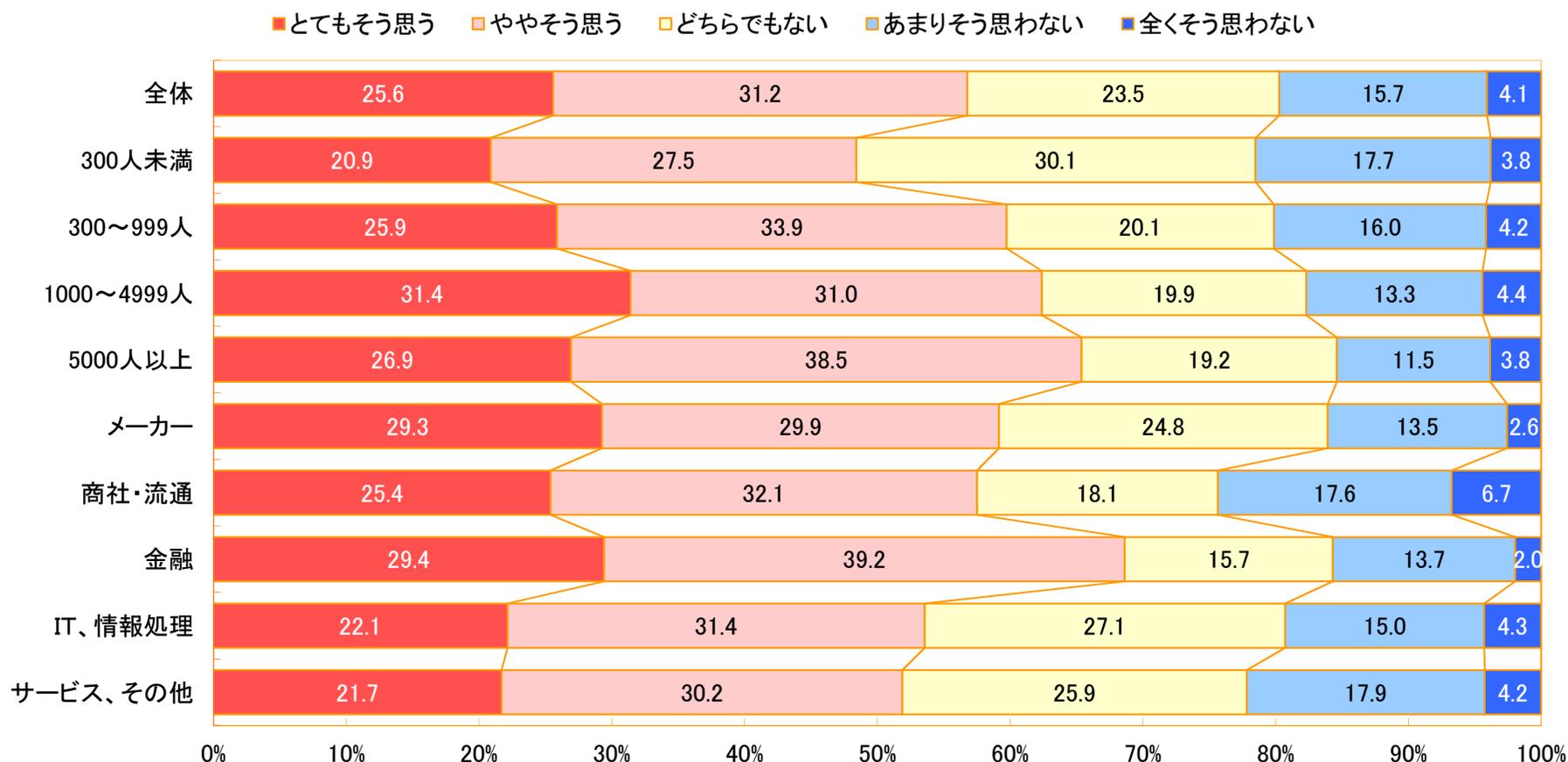
- 選考解禁時期の前倒しを受け、採用活動が短期化すると予想した企業は半数近い(46.8%)。
- 5000人以上の企業では63.5%が短期化予想。「IT、情報処理」では44.5%が長期化を覚悟。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。
 - (1) 採用活動が短期化する

【2017年度】 自社採用活動への影響 (2) 十分な母集団が形成できなくなる

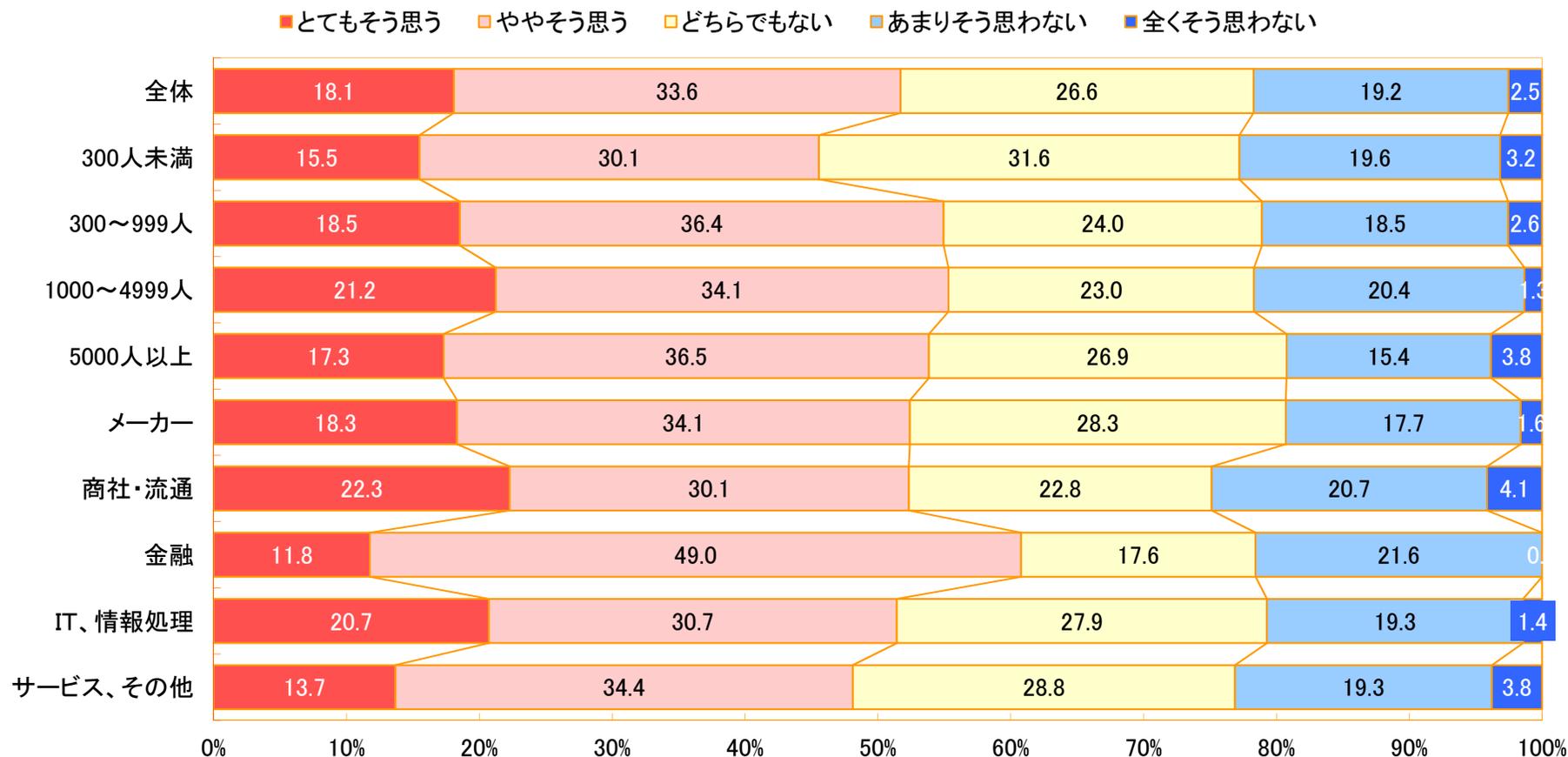
- 採用広報期間の短縮により、十分な母集団形成ができなくなると予想する企業が過半数(56.8%)。
- 1000人以上の企業で6割以上が苦戦を予想。「金融」では7割近くにのぼる(68.6%)。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。
 - (2) 十分な母集団が形成できなくなる

【2017年度】 自社採用活動への影響 (3) 優秀な学生との接触機会が減る

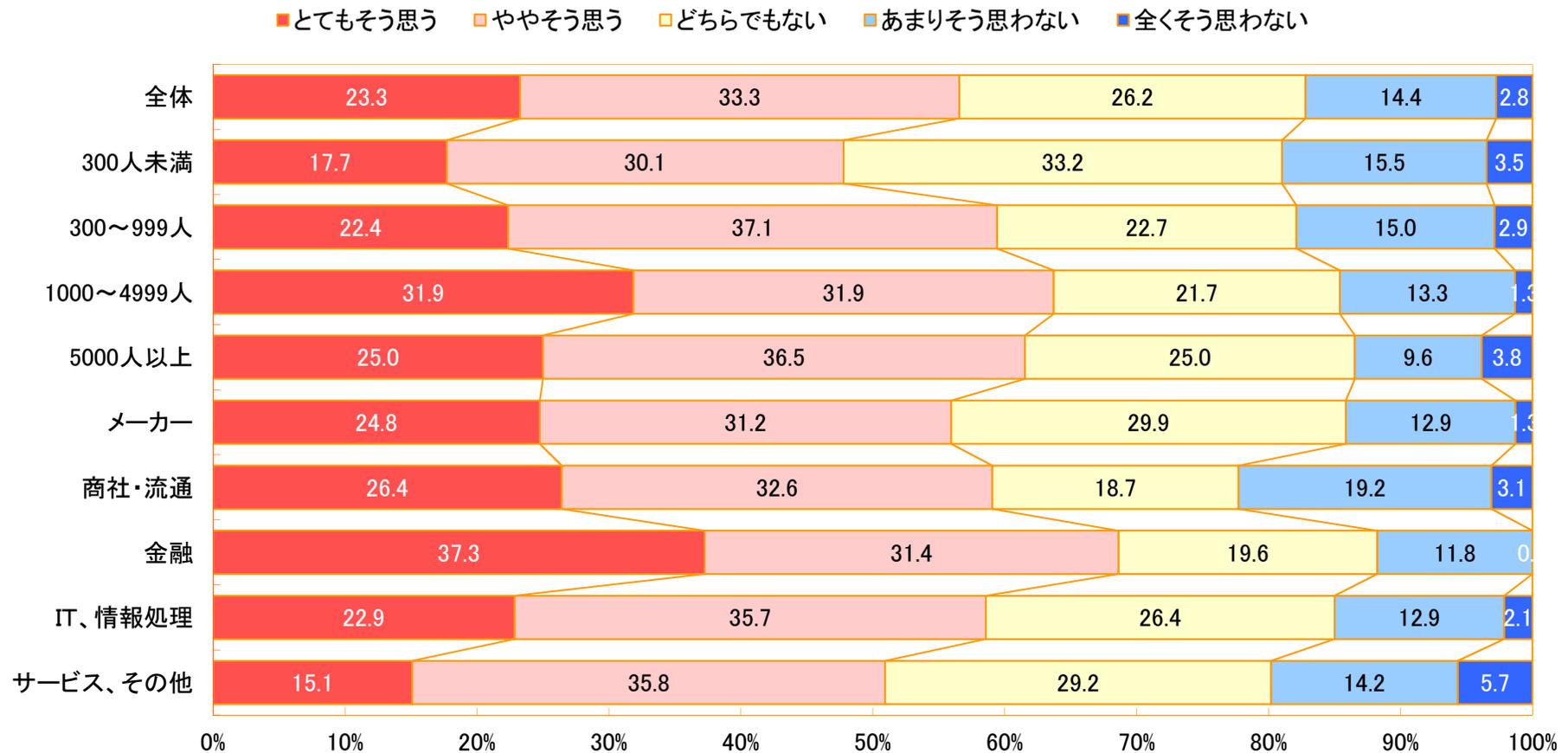
- 優秀層との接触機会が減少すると懸念する企業は過半数(51.7%)。
- 「金融」で60.8%が優秀層との接触機会が減少すると予想。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。
- (3) 優秀な学生との接触機会が減る

【2017年度】 自社採用活動への影響 (4) 自社への理解が浅い学生の応募が増える

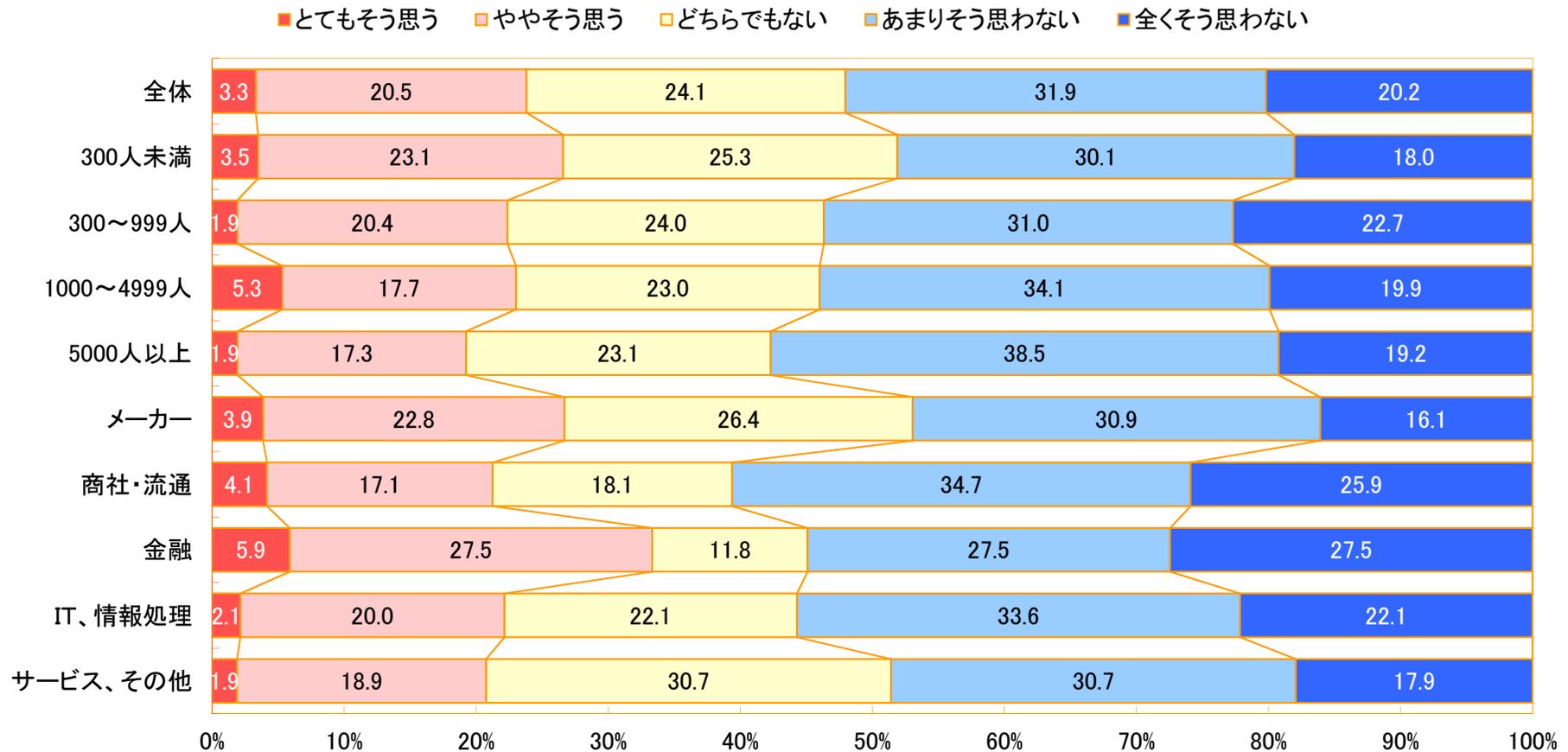
- 採用広報期間の短縮により、自社への理解が浅い学生の応募が増えると予想した企業は56.6%。
- 「金融」で68.7%が企業理解の浅い学生が増えると予想。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。
 - (4) 自社への理解が浅い学生の応募が増える

【2017年度】 自社採用活動への影響 (5) 内定辞退が減少する

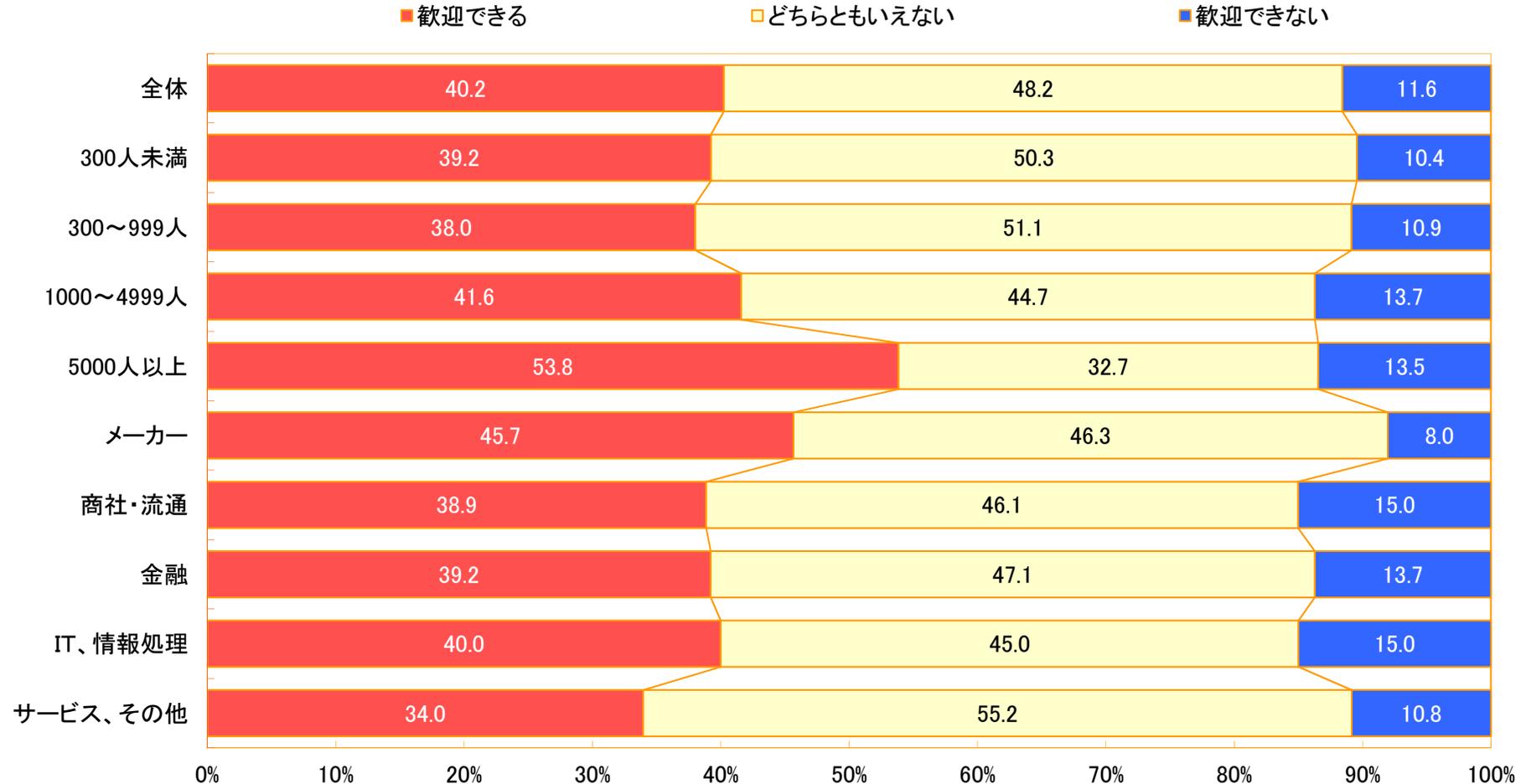
- 選考解禁時期の前倒しにより、内定辞退が減少するとの予想は23.8%にとどまり、過半数(52.1%)は減少しないと予想。
- 規模が大きい企業ほど内定辞退が減少しないとの予想が増える。「商社・流通」は約6割が減少しないと予想。



Q4. 選考解禁時期が前倒しになることにより、自社の採用活動へどのような影響が予想されますか。最も近いと思われるものをそれぞれご選択ください。
 - (5) 内定辞退が減少する

【2017年度】新スケジュールについて

- 全体の40.2%が、選考解禁の2カ月前倒しを自社の採用活動にとって歓迎できると回答。歓迎できないは11.6%。
- 5000人以上の企業で、歓迎する比率が高い(53.8%)。



Q5. 選考解禁時期が2カ月前倒しになることは、総じて、貴社の採用活動にとって歓迎できることですか。

【VOICE】 新スケジュールについて

■「歓迎する」と回答

- ・8月選考活動解禁に比べて、採用活動の長期化を避けられると考えるため。 <上場／メーカー>
- ・他社との競合の結果が早期に判明する為、次の動きがとりやすい。 <非上場／その他>
- ・大手とのスケジュールギャップが短くなるので、辞退者の見込みが立てやすくなる。 <上場／金融>
- ・元々守っていない企業が多すぎる。2016年度採用は3月説明会から8月選考まで学生を選考無しで引き留めることは極めて難しかった。2017年度は適度な間隔で実施できると考える。 <非上場／メーカー>
- ・2か月前倒しにより10月の内定式を軸に見た時、リカバーする期間が確保できる。 <上場／サービス>

■「歓迎しない」と回答

- ・選考時期が早まることで企業研究の時間が減少するため、ミスマッチが増える。 <非上場／金融>
- ・新入社員の受け入れなど、他の業務の繁忙期と重なってしまうため。また、2016のスケジュールは長期化の原因ではあったが、学生との相互理解を深める期間としては有効だった。 <上場／IT、情報処理>
- ・急な期間変更の為、すべてスケジュールも練り直し状態。総論としては前倒しは賛成だが、やるならせめて今年にアナウンスをして、2018年度の実施にしてほしかった。勝手な都合でころころ変えるのはやめてほしい。 <非上場／商社>
- ・もともとの後ろ倒し自体を歓迎していなかったのが、今回2か月前倒したといっても歓迎はできない。 <上場／メーカー>
- ・昨年よりは短期決戦になることは明白でその分他社との選考のバッティングが生じそう。また、学生の心理的な影響が見えないので、長期戦になることも覚悟しなければならないため。 <非上場／サービス>

■「どちらともいえない」と回答

- ・選考解禁を守る企業がどの程度いるか不明なため。 <非上場／サービス>
- ・前年に比べ、早期に活動終了ができるという期待はあるものの、6月選考解禁は人事部門の繁忙期と重なり、面接官等の人員確保が難しいため。 <上場／金融>
- ・選考開始日が早くなるのが歓迎だが、同時に広報開始日も早めていただかないと、学生へのPR期間が短くなり、十分な広報ができずに選考に入ってしまう、優秀層の確保が難しくなると思われるため。 <非上場／メーカー>
- ・スケジュールが変更になっても、他社の動きもバラバラなため、学生の動きが読みにくいというのは変わらないため。 <上場／サービス>
- ・2か月前倒しとなったところで、水面下で早期から選考活動は様々な企業で繰り広げられており、大きな変化とはならないと考えるため。 <非上場／IT、情報処理>
- ・16卒から17卒への変更期間が2年連続となったことで、社内で体制を変える為の準備期間が足りないから。ただし、内定式までの期間が長くなることで、採用数未達という状況は(幾分)防げると想定するため。 <上場／メーカー>
- ・大手への流出が懸念されるが、学生が早期で決断できる事から、企業にとっても対策が打ちやすくなる点がメリットとも言える。 <非上場／流通>